



国体セーリング競技参加指導者・選手アンケート

報告書

2010年11月

調査主体: (財)日本セーリング連盟 オリンピック特別委員会
ジュニア・ユース育成強化委員会

集計・分析主体: (株)アンド・ディ

■調査概要	4	[種目:ウインドサーフィン カテゴリー:インターハイ(高校)男子]	34
		[種目:ウインドサーフィン カテゴリー:インターハイ(高校)女子]	35
■回答者プロフィール	5	[種目:ハイパフォーマンス カテゴリー:成年男子]	36
■指導者 指導種目・階層	6	[種目:ハイパフォーマンス カテゴリー:成年女子]	37
■選手 国体参加の種目	7	[種目:ハイパフォーマンス カテゴリー:少年男子]	38
■選手 普段乗っている艇種	8	[種目:ハイパフォーマンス カテゴリー:少年女子]	39
■選手 今後乗りたいと考えている艇種	9	[種目:ハイパフォーマンス カテゴリー:インカレ(大学)男子]	40
		[種目:ハイパフォーマンス カテゴリー:インカレ(大学)女子]	41
		[種目:ハイパフォーマンス カテゴリー:インターハイ(高校)男子]	42
		[種目:ハイパフォーマンス カテゴリー:インターハイ(高校)女子]	43
■国体・高校・大学で取り組むべき艇種		②艇種選択の理由	44
①艇種の希望		■チャーター艇の可能性	
選手全体結果の一覧	10	①艇種を変更する場合、チャーター艇を希望するか	45
国体参加種目別結果の一覧	11	②チャーター艇を希望する場合、変更希望は容易になるか	46
[種目:二人乗り カテゴリー:国体成年男子]	12	③チャーター艇が用意される場合、費用負担は可能か	47
[種目:二人乗り カテゴリー:国体成年女子]	13		
[種目:二人乗り カテゴリー:国体少年男子]	14	■艇種を変更する場合に問題になる事	48
[種目:二人乗り カテゴリー:国体少年女子]	15	■オリンピック特別委員会およびジュニア・ユース育成強化委員会への意見	49
[種目:一人乗り カテゴリー:国体成年男子]	16		
[種目:一人乗り カテゴリー:国体成年女子]	17	■調査票	
[種目:一人乗り カテゴリー:国体少年男子]	18		
[種目:一人乗り カテゴリー:国体少年女子]	19		
[種目:ウインドサーフィン カテゴリー:国体成年男子]	20		
[種目:ウインドサーフィン カテゴリー:国体成年女子]	21		
[種目:二人乗り カテゴリー:インターハイ(高校)男子]	22		
[種目:二人乗り カテゴリー:インターハイ(高校)女子]	23		
[種目:二人乗り カテゴリー:インカレ(大学)男子]	24		
[種目:二人乗り カテゴリー:インカレ(大学)女子]	25		
[種目:ウインドサーフィン カテゴリー:インカレ(大学)男子]	26		
[種目:ウインドサーフィン カテゴリー:インカレ(大学)女子]	27		
※以下、現状種目なし【参考】			
[種目:一人乗り カテゴリー:インカレ(大学)女子]	28		
[種目:一人乗り カテゴリー:インターハイ(高校)男子]	29		
[種目:一人乗り カテゴリー:インターハイ(高校)女子]	30		
[種目:一人乗り カテゴリー:インカレ(大学)男子]	31		
[種目:ウインドサーフィン カテゴリー:国体少年男子]	32		
[種目:ウインドサーフィン カテゴリー:国体少年女子]	33		

調査概要

■調査目的

- ✓日本のセーリングが今後も発展し続け、次世代を担う選手達が世界に羽ばたくための方策を検討するために、また、我が国がアジアのリーダーとしての位置付けを確立するために以下を明らかにする。
 - ・ 国体参加選手・指導者・運営役員が、それぞれの様な艇種を国体・高校・大学で取り組むべきと考えているのか
 - ・ その艇種を回答した理由
 - ・ 艇種変更の場合の可能性と問題点
 - ・ オリンピック特別委員会およびジュニア・ユース育成強化委員会の取り組みについての要望・意見

■調査方法

- ✓千葉国体会場(稲毛)での都道府県連絡ポストへの投函、および手渡し

■調査期間

- ✓2010年9月24日(金)～29日(水)

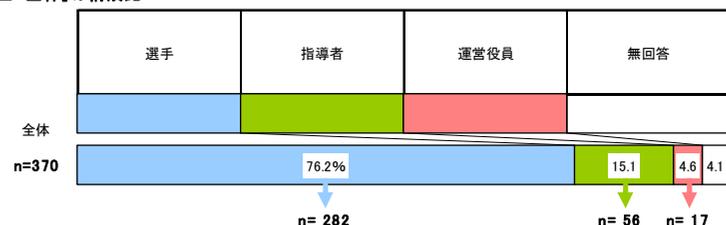
■配布・回収結果 **597名配布・370名回収(回収率62.0%)**

※回答内容に「不明」が多い1名を除き、集計を行った。

- ✓運営役員 17名
- ✓指導者 56名
- ✓選手 282名

回答者プロフィール

■「全体」の構成比



■性年代（全体／単一回答）

	調査数	男性				女性				無回答	平均 (歳)	男性 平均 (歳)	女性 平均 (歳)
		10代	20代	30代以上	無回答	10代	20代	30代以上	無回答				
全体	370	24.6	15.9	20.5	1.1	16.8	10.0	2.7	1.6	6.8	26.41	27.88	21.06
区分別													
運営役員	17	—	—	64.7	—	—	5.9	5.9	—	23.5	46.50	45.55	39.00
指導者	56	—	5.4	64.3	—	—	—	3.6	1.8	25.0	47.04	47.54	43.00
選手	282	31.6	19.1	10.3	1.4	20.2	11.7	2.1	1.4	2.1	21.78	22.48	20.35

※「全体」より 10pt 5pt 以上高い値にハイライト

性年代

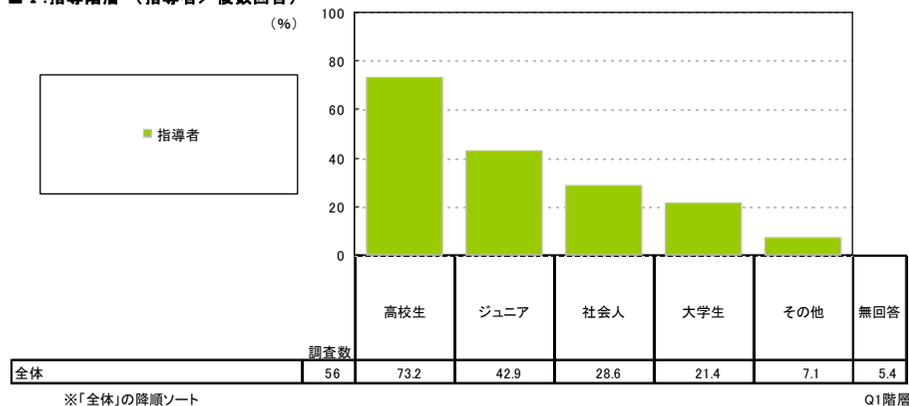
■チラシの閲覧経験（全体／単一回答）

		Yes (閲覧あり)	No (閲覧なし)	無回答
●凡例				
全体	(n=370)	37.8%	58.4	3.8
区分別				
運営役員	(n= 17)	29.4	58.8	11.8
指導者	(n= 56)	46.4	46.4	7.1
選手	(n=282)	36.9	60.3	2.8
選手× 団体 参加 種目別				
ヨット・計	(n=233)	40.3	57.5	2.1
成年ヨット・計	(n=101)	37.6	58.4	4.0
成年男子470級	(n= 46)	28.3	69.6	2.2
成年女子セーリングスピリッツ級	(n= 21)	33.3	57.1	9.5
成年男子国体シングルハンダー級	(n= 22)	54.5	40.9	4.5
成年女子シーホッパー級SR	(n= 12)	50.0	50.0	—
少年ヨット・計	(n=132)	42.4	56.8	0.8
少年男子セーリングスピリッツ級	(n= 50)	54.0	44.0	2.0
少年女子セーリングスピリッツ級	(n= 33)	18.2	81.8	—
少年男子シーホッパー級SR	(n= 31)	51.6	48.4	—
少年女子シーホッパー級SR	(n= 18)	38.9	61.1	—
ウインドサーフィン・計	(n= 30)	10.0	83.3	6.7
成年男子国体ウインドサーフィン級	(n= 20)	10.0	80.0	10.0
成年女子国体ウインドサーフィン級	(n= 10)	10.0	90.0	—

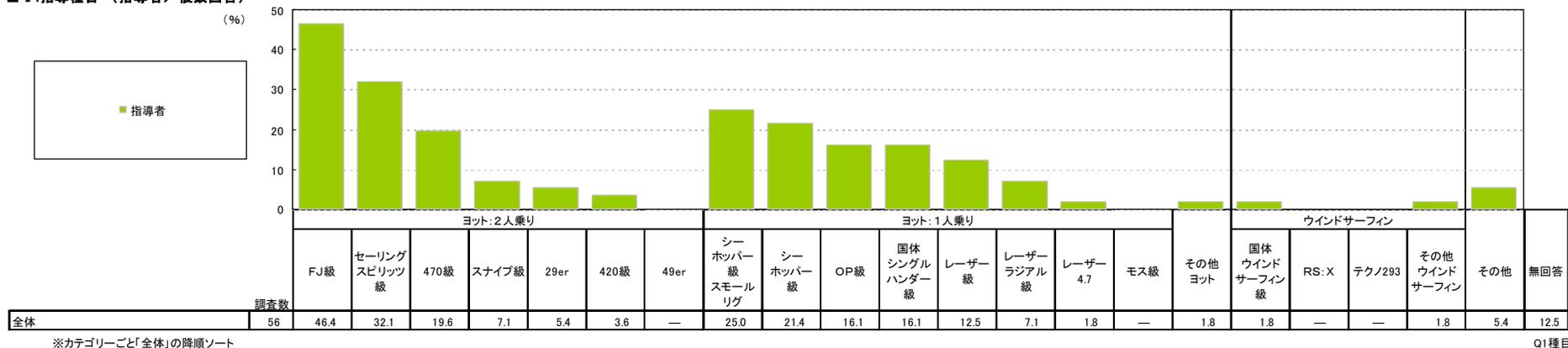
00

指導者 指導種目・階層

■ I. 指導階層 (指導者/複数回答)



■ I. 指導種目 (指導者/複数回答)

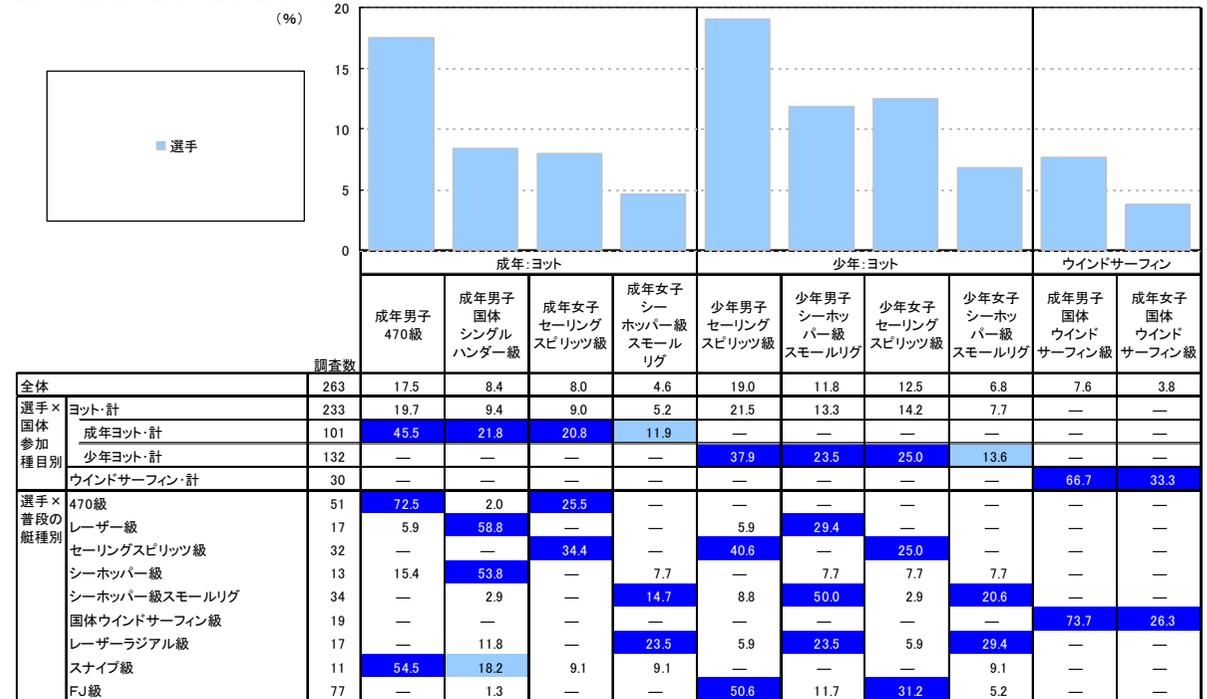


選手 国体参加の種目



※選手282名中、種目の特定が可能だった者263名の内訳

■ II (1) 国体参加種目 (選手・種目回答者/単一回答) ※無回答者を除く



※「全体」より 10pt 5pt 以上高い値にハイライト

Q2(1)

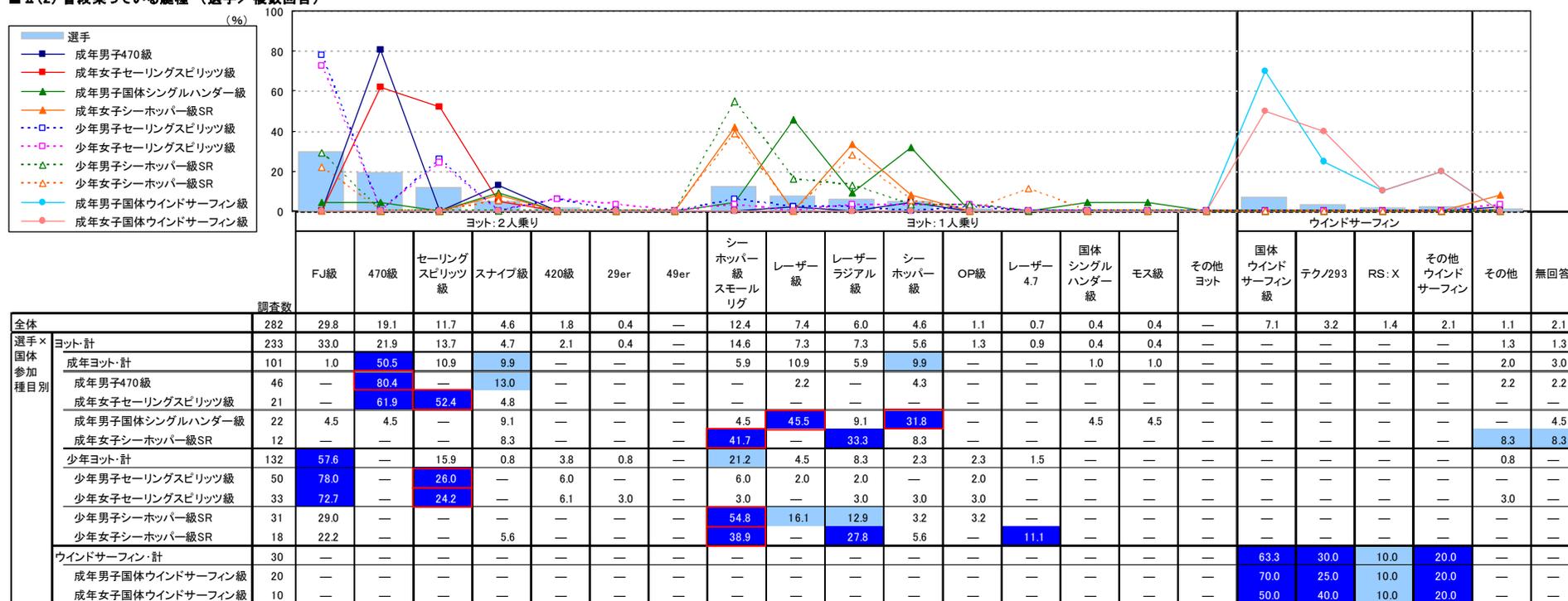
選手 普段乗っている艇種

✓国体参加種目別に、国体参加種目と普段乗っている艇が合致している割合(赤枠の部分)をみた。

■ヨット種目の中で合致度が高い順では、「成年男子470級」(80%)、「少年男子シーホッパー級SR」(55%)、「成年女子セーリングスピリッツ級」(52%)、「成年男子国体シングルハンダー級(レーザー級)」(46%)、「成年女子シーホッパー級SR」(42%)、「少年女子シーホッパー級SR」(39%)、「成年男子国体シングルハンダー級(シーホッパー級)」(32%)、「少年男子セーリングスピリッツ級」(26%)、「少年女子セーリングスピリッツ級」(24%)であった。

■「少年男子セーリングスピリッツ級」(26%)、「少年女子セーリングスピリッツ級」(24%)は普段乗っている艇種(FJ級:7割以上)とのギャップが大きい。

■ II (2) 普段乗っている艇種 (選手/複数回答)



※カテゴリごと「選手」の降順ソート

※「全体」より 10pt 5pt 以上高い値にハイライト

※ 国体参加種目に該当する艇種

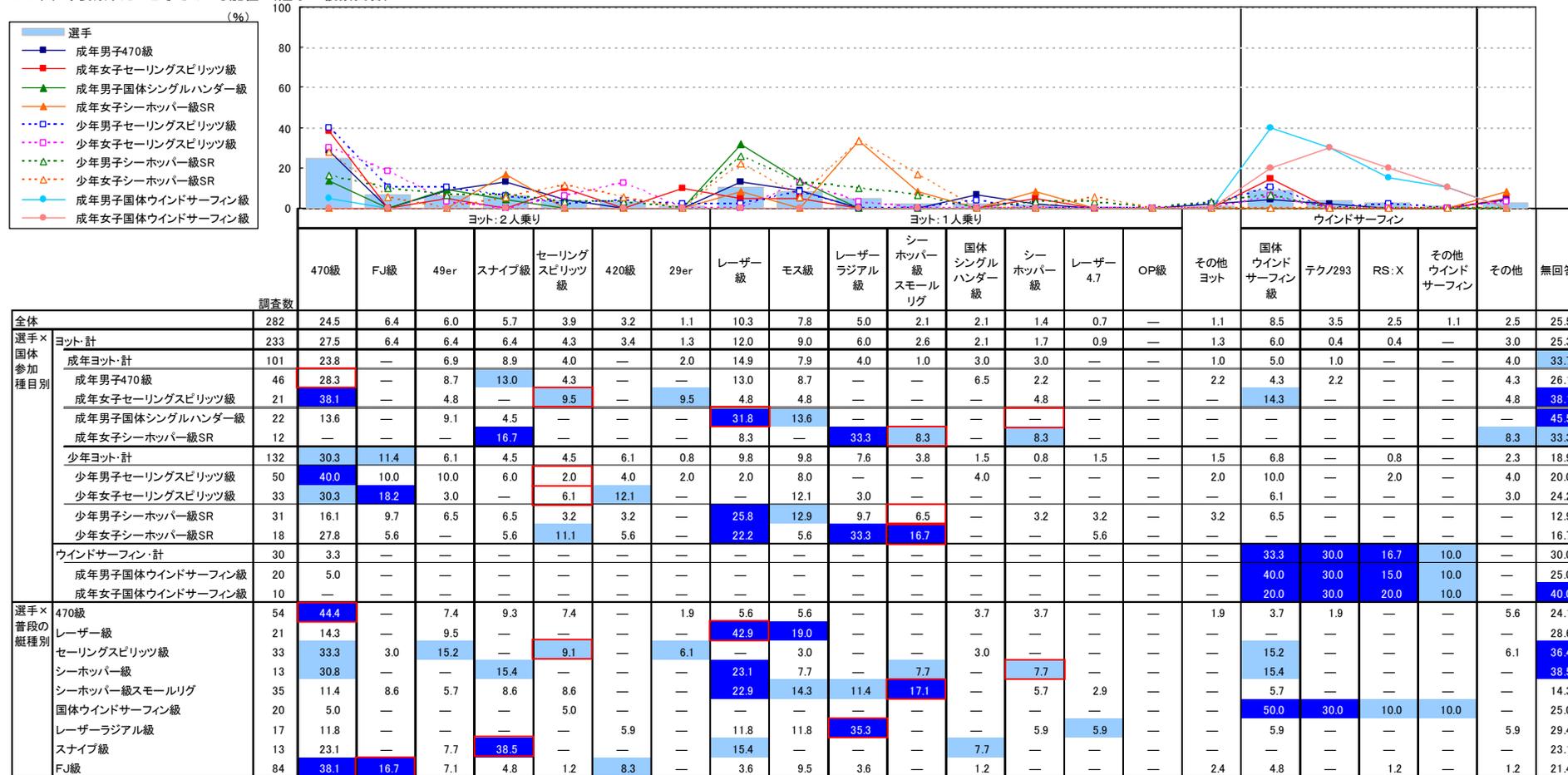
Q2(3)

選手 今後乗りたいと考えている艇種

✓国体参加種目別に、国体参加種目と今後乗りたいと考えている艇種とが合致している割合(赤枠の部分)をみた。

■ヨット種目の中で合致度が高い順では、「成年男子国体シングルハンダー級(レーザー級)」(32%)、「成年男子470級」(28%)、「少年女子シーホッパー級SR」(17%)、「成年女子セーリングスピリッツ級」(10%)、「成年女子シーホッパー級SR」(8%)、「少年男子シーホッパー級SR」(7%)、「少年女子セーリングスピリッツ級」(6%)「少年男子セーリングスピリッツ級」(2%)、「成年男子国体シングルハンダー級(シーホッパー級)」(0%)であった。

■ II (3) 今後乗りたいと考えている艇種 (選手/複数回答)



※カテゴリーごと「選手」の降順ソート

※「全体」より 10pt 5pt 以上高い値にハイライト

※国体参加種目に該当する艇種

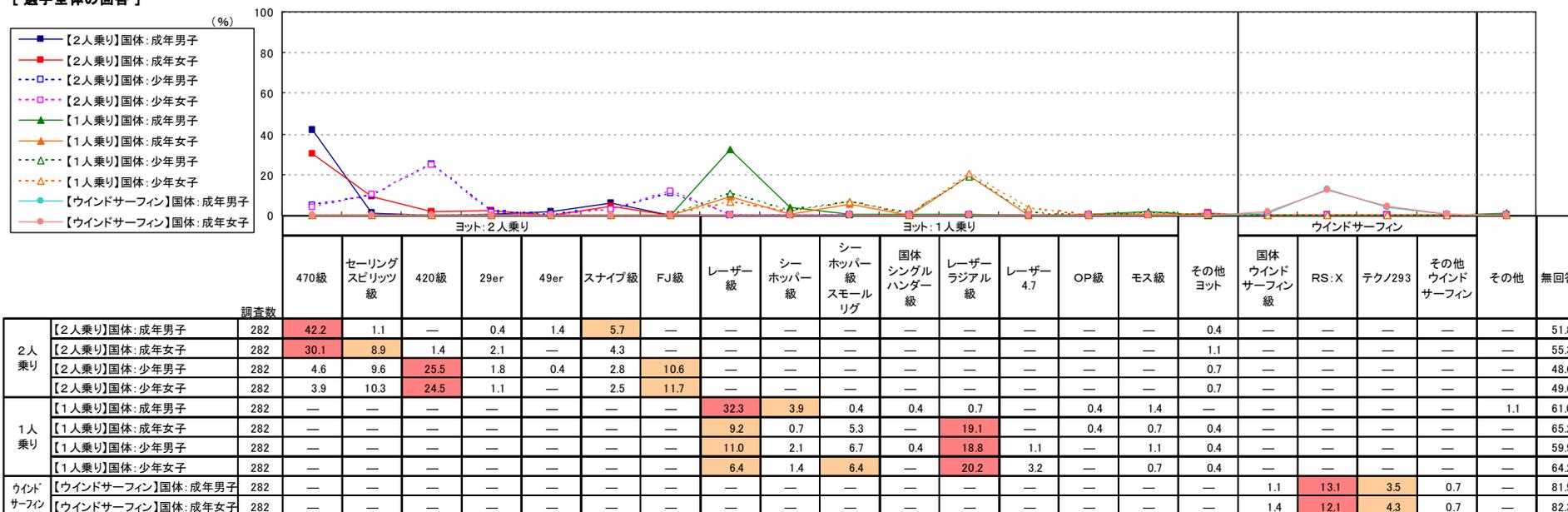
Q2(3)

国体で取り組むべき艇種： 選手全体結果の一覧

✓“国体で取り組むべき艇種”を国体参加種目別にみた。(選手全体の回答)

- 成年男子・二人乗りでは、「470級」が42%と突出。
- 成年女子・二人乗りでは、「セーリングスピリッツ級」(9%)よりも「470級」(30%)の方が高い。
- 少年男子・二人乗りでは、「セーリングスピリッツ級」(10%)よりも「420級」(26%)の方が高い。
- 少年女子・二人乗りでは、「セーリングスピリッツ級」(10%)よりも「420級」(25%)の方が高い。
- 成年男子・一人乗りでは、「シーホッパー級」(4%)よりも「レーザー級」(32%)の方が高い。
- 成年女子・一人乗りでは、「シーホッパー級SR」(5%)よりも「レーザーラジアル級」(19%)の方が高い。
- 少年男子・一人乗りでは、「シーホッパー級SR」(7%)よりも「レーザーラジアル級」(19%)の方が高い。
- 少年女子・一人乗りでは、「シーホッパー級SR」(6%)よりも「レーザーラジアル級」(20%)の方が高い。
- 成年男子・ウインドサーフィン級では、「RS:X」が13%でトップ。成年女子・ウインドサーフィン級でも、「RS:X」が12%でトップ。

■ Ⅲ-1. 世界で活躍するために取り組むべき艇種 (選手/各複数回答)
 [選手全体の回答]



※国体参加種目ごと 1位 2位 にハイライト

Q3-1マトリクス 選手全体

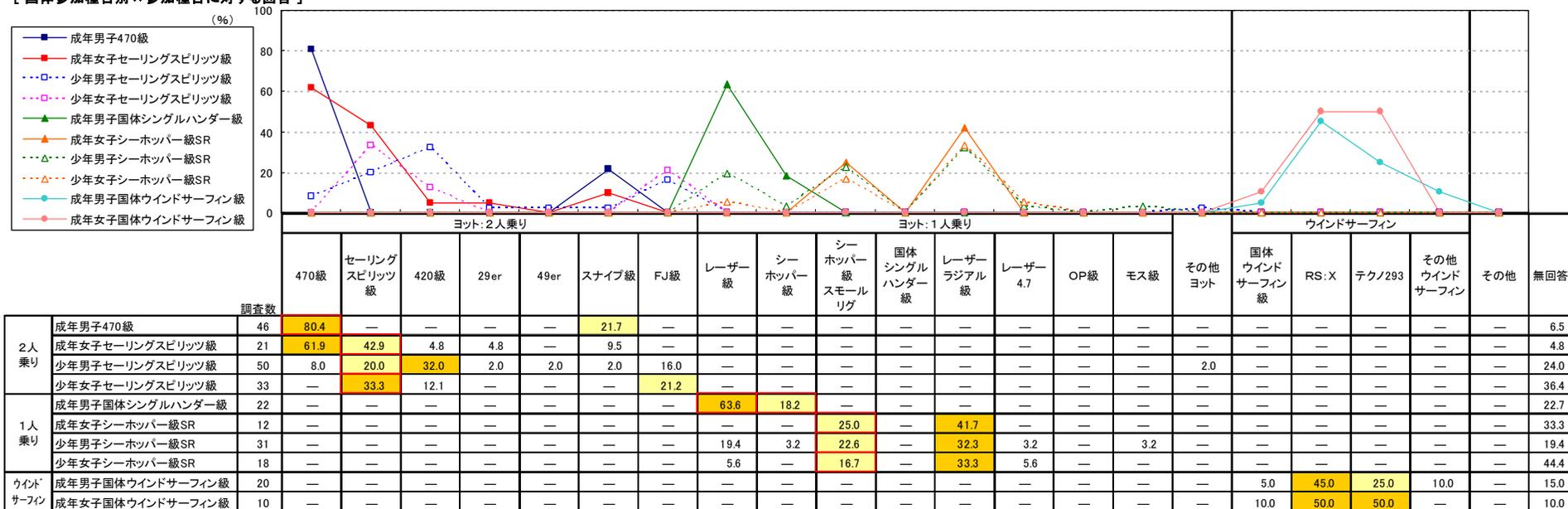
国体で取り組むべき艇種： 国体参加種目別結果の一覧

- ✓ 選手自身が参加した国体種目に対する回答で、「参加した国体種目」と「国体で取り組むべき艇種」とが合致している割合(赤枠の部分)をみた。
 - 例)「成年男子470級」に参加した選手が「成年男子(二人乗り)」について回答した結果

■ヨット種目の中で、合致度の割合が高い順に、「成年男子470級」(80%)、「成年男子国体シングルハンダー級(レーザー級)」(64%)、「成年女子セーリングスピリッツ級」(43%)、「少年女子セーリングスピリッツ級」(33%)、「成年女子シーホッパー級SR」(25%)、「少年男子シーホッパー級SR」(23%)、「少年男子セーリングスピリッツ級」(20%)、「成年男子国体シングルハンダー級(シーホッパー級)」(18%)、「少年女子シーホッパー級SR」(17%)であった。

- 「成年女子セーリングスピリッツ級」参加選手では「セーリングスピリッツ級」(43%)よりも「470級」(62%)の方が高い。
- 「少年男子セーリングスピリッツ級」参加選手では「セーリングスピリッツ級」(20%)よりも「420級」(32%)の方が高い。
- 「成年女子・少年男子・少年女子シーホッパー級SR」参加選手では「シーホッパー級SR」よりも「レーザーラジアル級」の方が高い。

■Ⅲ-1. 世界で活躍するために取り組むべき艇種 (選手/各複数回答)
[国体参加種目別 × 参加種目に対する回答]



※国体参加種目ごと 1位 2位 にハイライト

※ 国体参加種目に該当する艇種

Q3-1マトリクス 選手種目別

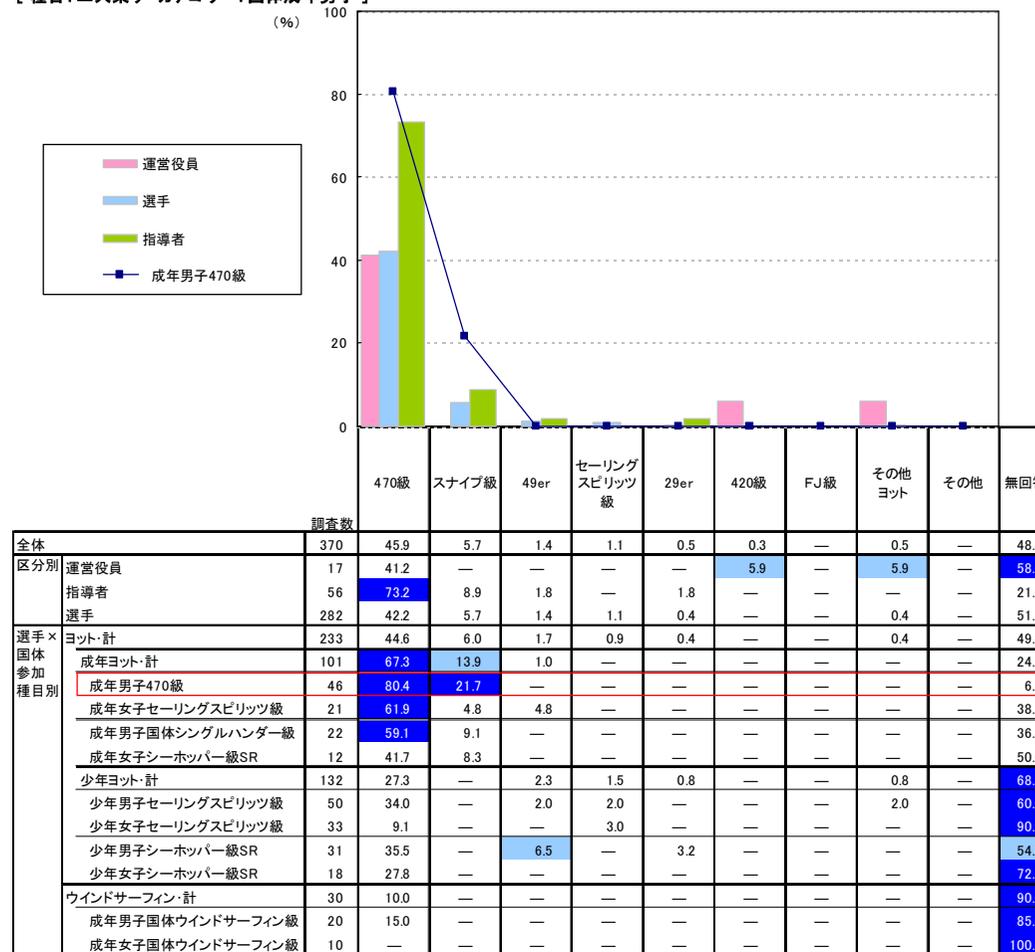
国体・高校・大学で取り組むべき艇種 ①艇種の希望

[種目:二人乗り カテゴリー:国体成年男子]

■国体成年男子・二人乗りの種目で取り組むべき艇種としては、「470級」が46%と突出。

- ✓ 区分別では指導者が高く、7割強が「470級」に取り組むべきと回答。
- ✓ 国体成年男子470級に参加した選手では、8割が同艇種を支持しており、続いて「スナイプ級」が2割。

■Ⅲ-1.世界で活躍するために取り組むべき艇種 (全体/複数回答) ※指導・参加種目以外も回答あり
[種目:二人乗り カテゴリー:国体成年男子]



		調査数										
		470級	スナイプ級	49er	セーリングスピリッツ級	29er	420級	FJ級	その他ヨット	その他	無回答	
全体		370	45.9	5.7	1.4	1.1	0.5	0.3	—	0.5	—	48.4
区分別	運営役員	17	41.2	—	—	—	—	5.9	—	5.9	—	58.8
	指導者	56	73.2	8.9	1.8	—	1.8	—	—	—	—	21.4
	選手	282	42.2	5.7	1.4	1.1	0.4	—	—	0.4	—	51.8
選手×国体参加種目別	ヨット・計	233	44.6	6.0	1.7	0.9	0.4	—	—	0.4	—	49.4
	成年ヨット・計	101	67.3	13.9	1.0	—	—	—	—	—	—	24.8
	成年男子470級	46	80.4	21.7	—	—	—	—	—	—	—	6.5
	成年女子セーリングスピリッツ級	21	61.9	4.8	4.8	—	—	—	—	—	—	38.1
	成年男子国体シングルハンダー級	22	59.1	9.1	—	—	—	—	—	—	—	36.4
	成年女子シーホッパー級SR	12	41.7	8.3	—	—	—	—	—	—	—	50.0
	少年ヨット・計	132	27.3	—	2.3	1.5	0.8	—	—	0.8	—	68.2
	少年男子セーリングスピリッツ級	50	34.0	—	2.0	2.0	—	—	—	2.0	—	60.0
	少年女子セーリングスピリッツ級	33	9.1	—	—	3.0	—	—	—	—	—	90.9
	少年男子シーホッパー級SR	31	35.5	—	6.5	—	3.2	—	—	—	—	54.8
	少年女子シーホッパー級SR	18	27.8	—	—	—	—	—	—	—	—	72.2
	ウインドサーフィン・計	30	10.0	—	—	—	—	—	—	—	—	90.0
	成年男子国体ウインドサーフィン級	20	15.0	—	—	—	—	—	—	—	—	85.0
	成年女子国体ウインドサーフィン級	10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0

※該当種目以外の艇種が回答されている場合、グラフ上は非表示

※「選手」の降順ソート

※「全体」より 10pt 5pt 以上高い値にハイライト

Q3-1二人①

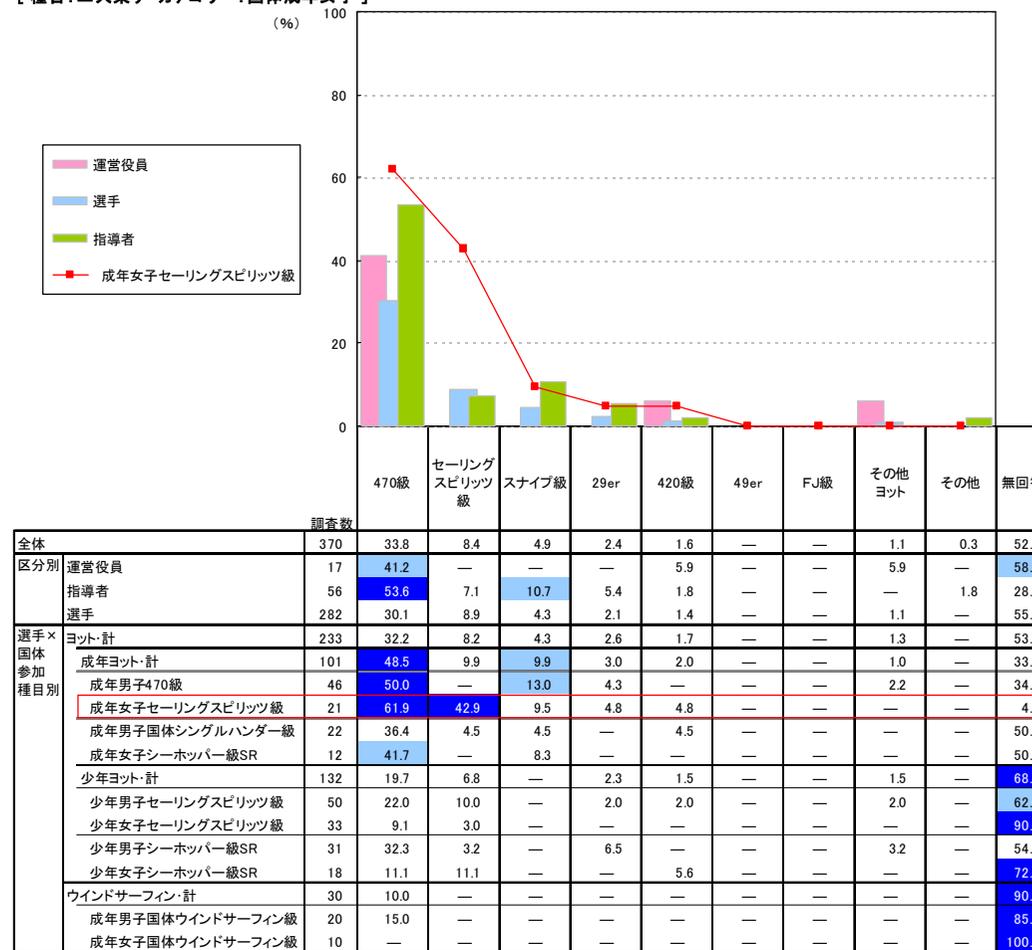
国体・高校・大学で取り組むべき艇種 ①艇種の希望

[種目:二人乗り カテゴリー:国体成年女子]

■国体成年女子・二人乗りの種目で取り組むべき艇種としては、「470級」が34%と突出。

- ✓ 区分別では指導者が高く、5割強が「470級」に取り組むべきと回答。
- ✓ 国体成年女子セーリングスピリッツ級に参加した選手では、同艇種を支持したのは4割と他の選手に比べて高いが、「470級」の6割を下回る。

■Ⅱ-1.世界で活躍するために取り組むべき艇種 (全体/複数回答) ※指導・参加種目以外も回答あり
[種目:二人乗り カテゴリー:国体成年女子]



		調査数										
区分別		470級	セーリングスピリッツ級	スナイフ級	29er	420級	49er	FJ級	その他ヨット	その他	無回答	
全体		370	33.8	8.4	4.9	2.4	1.6	—	—	1.1	0.3	52.2
区分別	運営役員	17	41.2	—	—	—	5.9	—	—	5.9	—	58.8
	指導者	56	53.6	7.1	10.7	5.4	1.8	—	—	—	1.8	28.6
	選手	282	30.1	8.9	4.3	2.1	1.4	—	—	1.1	—	55.3
選手×国体参加種目別	ヨット・計	233	32.2	8.2	4.3	2.6	1.7	—	—	1.3	—	53.6
	成年ヨット・計	101	48.5	9.9	9.9	3.0	2.0	—	—	1.0	—	33.7
	成年男子470級	46	50.0	—	13.0	4.3	—	—	—	2.2	—	34.8
	成年女子セーリングスピリッツ級	21	61.9	42.9	9.5	4.8	4.8	—	—	—	—	4.8
	成年男子国体シングルハンダー級	22	36.4	4.5	4.5	—	4.5	—	—	—	—	50.0
	成年女子シーホッパー級SR	12	41.7	—	8.3	—	—	—	—	—	—	50.0
	少年ヨット・計	132	19.7	6.8	—	2.3	1.5	—	—	1.5	—	68.9
	少年男子セーリングスピリッツ級	50	22.0	10.0	—	2.0	2.0	—	—	2.0	—	62.0
	少年女子セーリングスピリッツ級	33	9.1	3.0	—	—	—	—	—	—	—	90.9
	少年男子シーホッパー級SR	31	32.3	3.2	—	6.5	—	—	—	3.2	—	54.8
少年女子シーホッパー級SR	18	11.1	11.1	—	—	5.6	—	—	—	—	72.2	
ウインドサーフィン・計		30	10.0	—	—	—	—	—	—	—	—	90.0
	成年男子国体ウインドサーフィン級	20	15.0	—	—	—	—	—	—	—	—	85.0
	成年女子国体ウインドサーフィン級	10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0

※該当種目以外の艇種が回答されている場合、グラフ上は非表示

※「選手」の降順ソート

※「全体」より 10pt 5pt 以上高い値にハイライト

Q3-1二人②

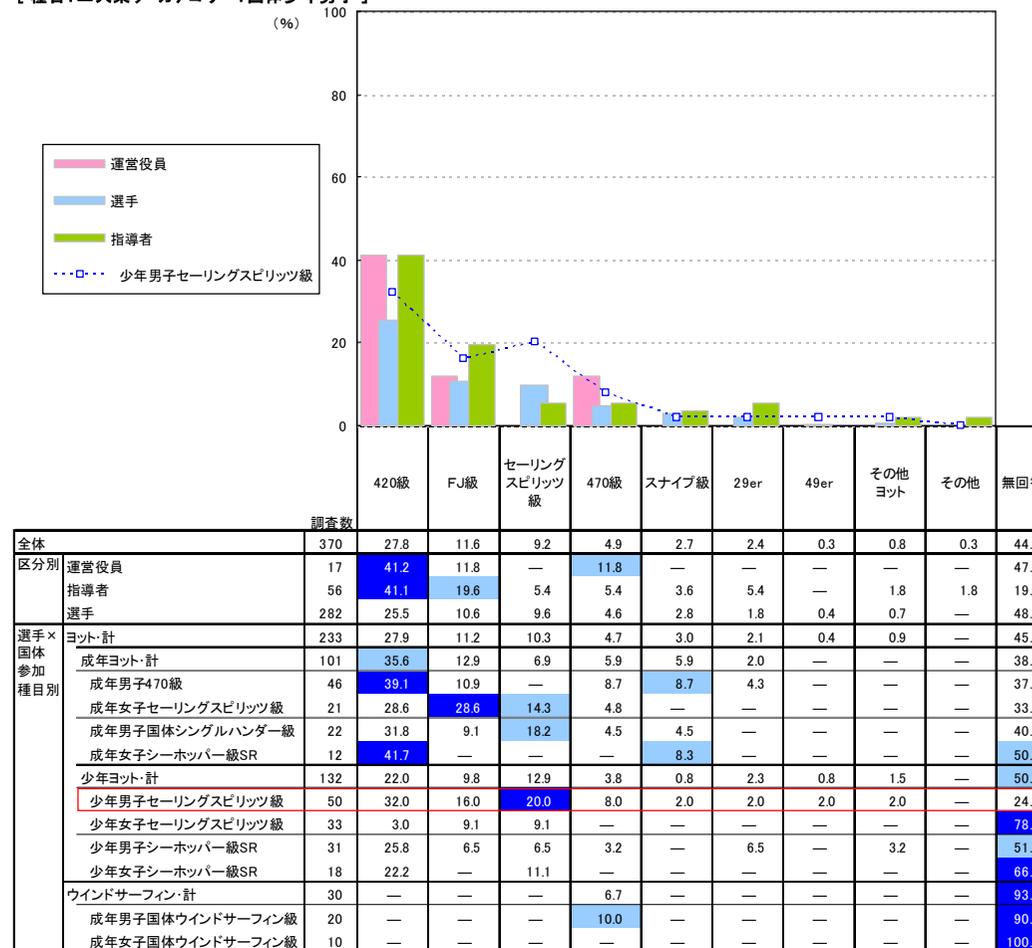
国体・高校・大学で取り組むべき艇種 ①艇種の希望

[種目:二人乗り カテゴリー:国体少年男子]

■国体少年男子・二人乗りの種目で取り組むべき艇種としては、「420級」が28%でトップ。

- ✓ 区分別では運営役員・指導者が高く、4割が「420級」に取り組むべきと回答。
- ✓ 少年男子セーリングスピリッツ級に参加した選手では、同艇種を支持したのは2割と他の選手に比べて高いが、「420級」の3割を下回る。
- ✓ 選手の中では成年男子470級の選手で「420級」を4割支持しており、「470級」の前のステップとして「420級」が適していると考えていることがうかがえる。

■Ⅱ-1.世界で活躍するために取り組むべき艇種 (全体/複数回答) ※指導・参加種目以外も回答あり
[種目:二人乗り カテゴリー:国体少年男子]



		調査数	420級	FJ級	セーリングスピリッツ級	470級	スナイブ級	29er	49er	その他ヨット	その他	無回答
全体		370	27.8	11.6	9.2	4.9	2.7	2.4	0.3	0.8	0.3	44.6
区分別	運営役員	17	41.2	11.8	—	11.8	—	—	—	—	—	47.1
	指導者	56	41.1	19.6	5.4	5.4	3.6	5.4	—	1.8	1.8	19.6
	選手	282	25.5	10.6	9.6	4.6	2.8	1.8	0.4	0.7	—	48.6
選手×国体参加種目別	ヨット・計	233	27.9	11.2	10.3	4.7	3.0	2.1	0.4	0.9	—	45.1
	成年ヨット・計	101	35.6	12.9	6.9	5.9	5.9	2.0	—	—	—	38.6
	成年男子470級	46	39.1	10.9	—	8.7	8.7	4.3	—	—	—	37.0
	成年女子セーリングスピリッツ級	21	28.6	28.6	14.3	4.8	—	—	—	—	—	33.3
	成年男子国体シングルハンダー級	22	31.8	9.1	18.2	4.5	4.5	—	—	—	—	40.9
	成年女子シーホッパー級SR	12	41.7	—	—	—	8.3	—	—	—	—	50.0
	少年ヨット・計	132	22.0	9.8	12.9	3.8	0.8	2.3	0.8	1.5	—	50.0
	少年男子セーリングスピリッツ級	50	32.0	16.0	20.0	8.0	2.0	2.0	2.0	2.0	—	24.0
	少年女子セーリングスピリッツ級	33	3.0	9.1	9.1	—	—	—	—	—	—	78.8
	少年男子シーホッパー級SR	31	25.8	6.5	6.5	3.2	—	6.5	—	3.2	—	51.6
	少年女子シーホッパー級SR	18	22.2	—	11.1	—	—	—	—	—	—	66.7
	ウインドサーフィン・計	30	—	—	—	6.7	—	—	—	—	—	93.3
	成年男子国体ウインドサーフィン級	20	—	—	—	10.0	—	—	—	—	—	90.0
	成年女子国体ウインドサーフィン級	10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0

※該当種目以外の艇種が回答されている場合、グラフ上は非表示

※「選手」の降順ソート

※「全体」より

10pt 5pt 以上高い値にハイライト

Q3-1二人③

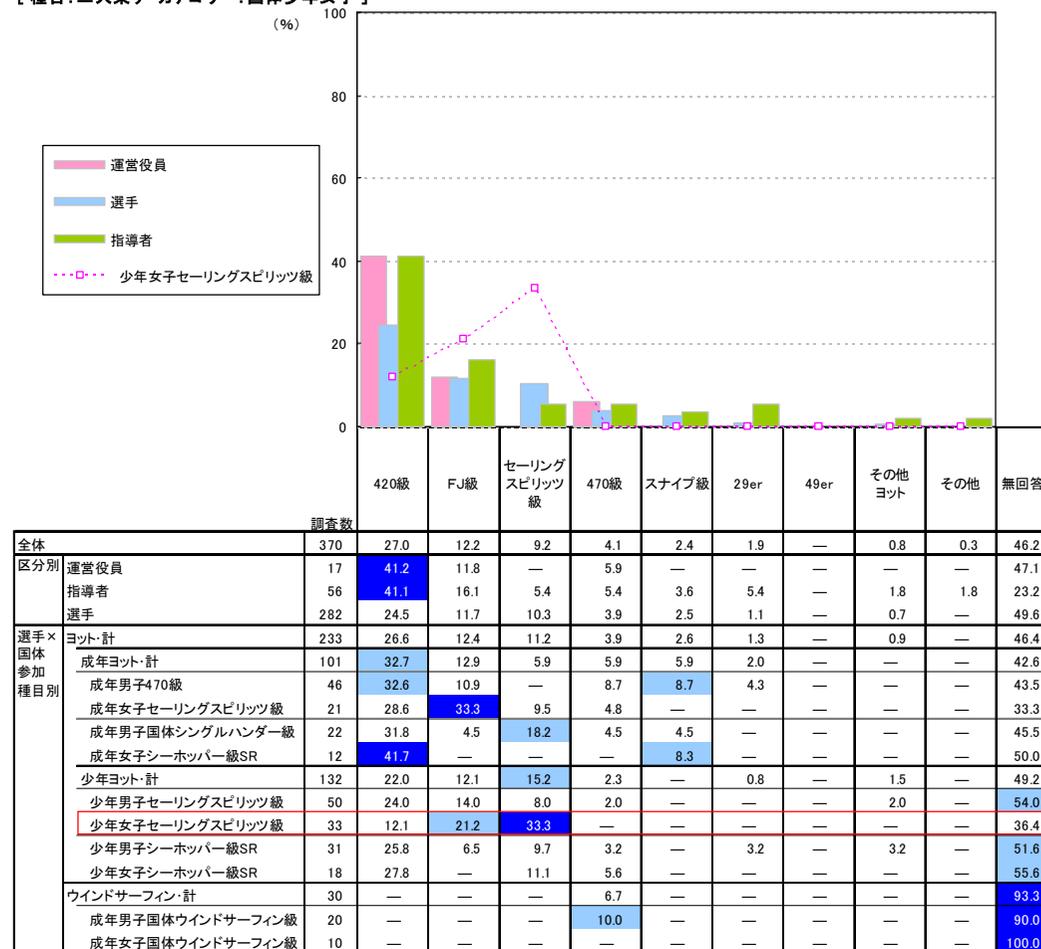
国体・高校・大学で取り組むべき艇種 ①艇種の希望

[種目:二人乗り カテゴリー:国体少年女子]

■国体少年女子・二人乗りの種目で取り組むべき艇種としては、「420級」が27%でトップ。

- ✓ 区分別では運営役員・指導者が高く、4割が「420級」に取り組むべきと回答。
- ✓ 少年女子セーリングスピリッツ級に参加した選手では、同艇種を支持したのは3割と他の選手に比べて高く、「FJ級」の2割、「420級」の1割を上回る。
- ✓ また、少年女子セーリングスピリッツ級に参加した選手では「無回答」が4割弱と高いのも特徴的である。
- ✓ 他の少年女子の種目も含めて、全般的に少年女子は無回答が多い傾向にある。

■Ⅱ-1.世界で活躍するために取り組むべき艇種 (全体/複数回答) ※指導・参加種目以外も回答あり
[種目:二人乗り カテゴリー:国体少年女子]



		調査数										
全体		370	27.0	12.2	9.2	4.1	2.4	1.9	—	0.8	0.3	46.2
区分別	運営役員	17	41.2	11.8	—	5.9	—	—	—	—	—	47.1
	指導者	56	41.1	16.1	5.4	5.4	3.6	5.4	—	1.8	1.8	23.2
	選手	282	24.5	11.7	10.3	3.9	2.5	1.1	—	0.7	—	49.6
選手×国体参加種目別	ヨット・計	233	26.6	12.4	11.2	3.9	2.6	1.3	—	0.9	—	46.4
	成年ヨット・計	101	32.7	12.9	5.9	5.9	5.9	2.0	—	—	—	42.6
	成年男子470級	46	32.6	10.9	—	8.7	8.7	4.3	—	—	—	43.5
	成年女子セーリングスピリッツ級	21	28.6	33.3	9.5	4.8	—	—	—	—	—	33.3
	成年男子国体シングルハンダー級	22	31.8	4.5	18.2	4.5	—	—	—	—	—	45.5
	成年女子シーホッパー級SR	12	41.7	—	—	—	8.3	—	—	—	—	50.0
	少年ヨット・計	132	22.0	12.1	15.2	2.3	—	0.8	—	1.5	—	49.2
	少年男子セーリングスピリッツ級	50	24.0	14.0	8.0	2.0	—	—	—	2.0	—	54.0
	少年女子セーリングスピリッツ級	33	12.1	21.2	33.3	—	—	—	—	—	—	36.4
	少年男子シーホッパー級SR	31	25.8	6.5	9.7	3.2	—	3.2	—	3.2	—	51.6
少年女子シーホッパー級SR	18	27.8	—	11.1	5.6	—	—	—	—	—	55.6	
ウインドサーフィン・計	ウインドサーフィン・計	30	—	—	—	6.7	—	—	—	—	—	93.3
	成年男子国体ウインドサーフィン級	20	—	—	—	10.0	—	—	—	—	—	90.0
成年女子国体ウインドサーフィン級	10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0	

※該当種目以外の艇種が回答されている場合、グラフ上は非表示
※「選手」の降順ソート ※「全体」より 10pt 5pt 以上高い値にハイライト

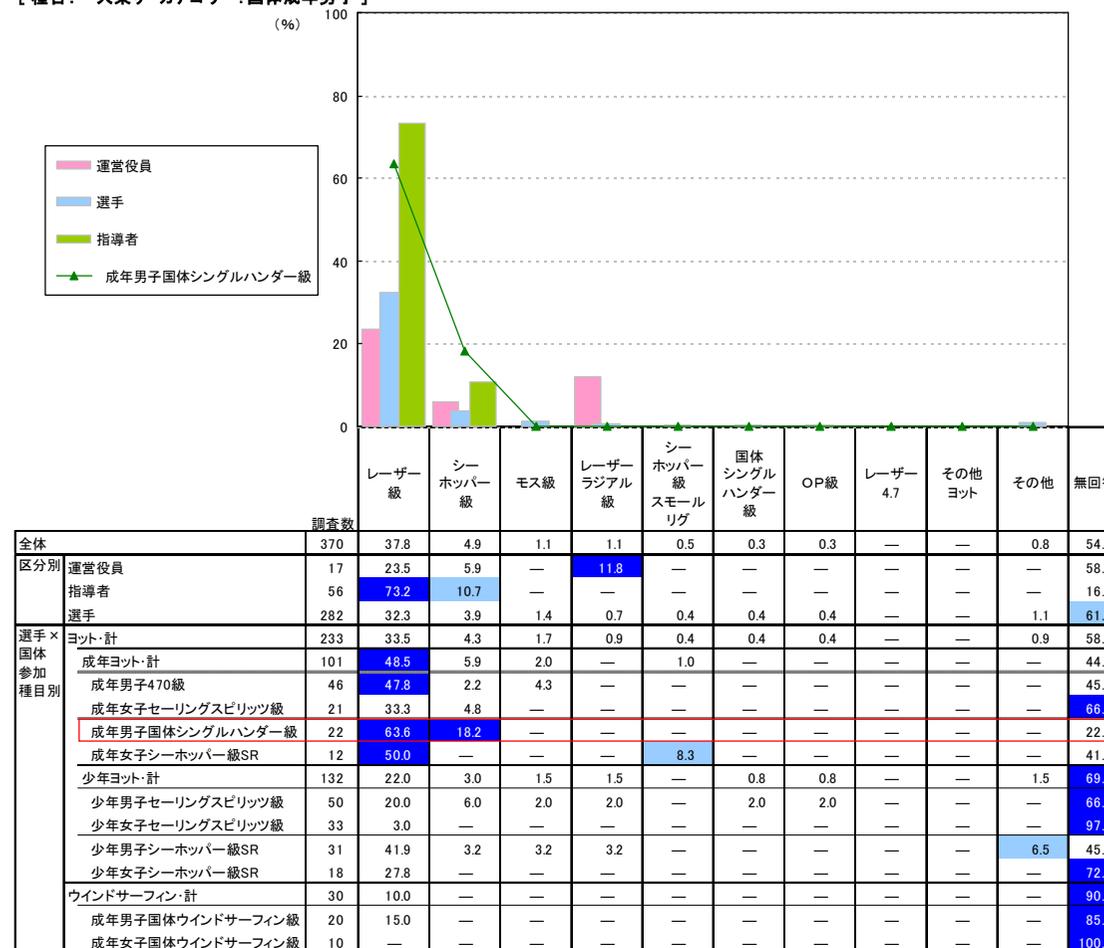
国体・高校・大学で取り組むべき艇種 ①艇種の希望

[種目:一人乗り カテゴリー:国体成年男子]

■国体成年男子・一人乗りの種目で取り組むべき艇種としては、「レーザー級」が38%と突出。

- ✓ 区分別では指導者が高く、7割強が「レーザー級」に取り組むべきと回答。
- ✓ 少年男子国体シングルハンダー級に参加した選手では「レーザー級」を支持したのは6割強と他の選手に比べて高い。

■Ⅲ-1.世界で活躍するために取り組むべき艇種 (全体/複数回答) ※指導・参加種目以外も回答あり
[種目:一人乗り カテゴリー:国体成年男子]



※該当種目以外の艇種が回答されている場合、グラフ上は非表示
※「選手」の降順ソート ※「全体」より 10pt 5pt 以上高い値にハイライト

Q3-1-入①

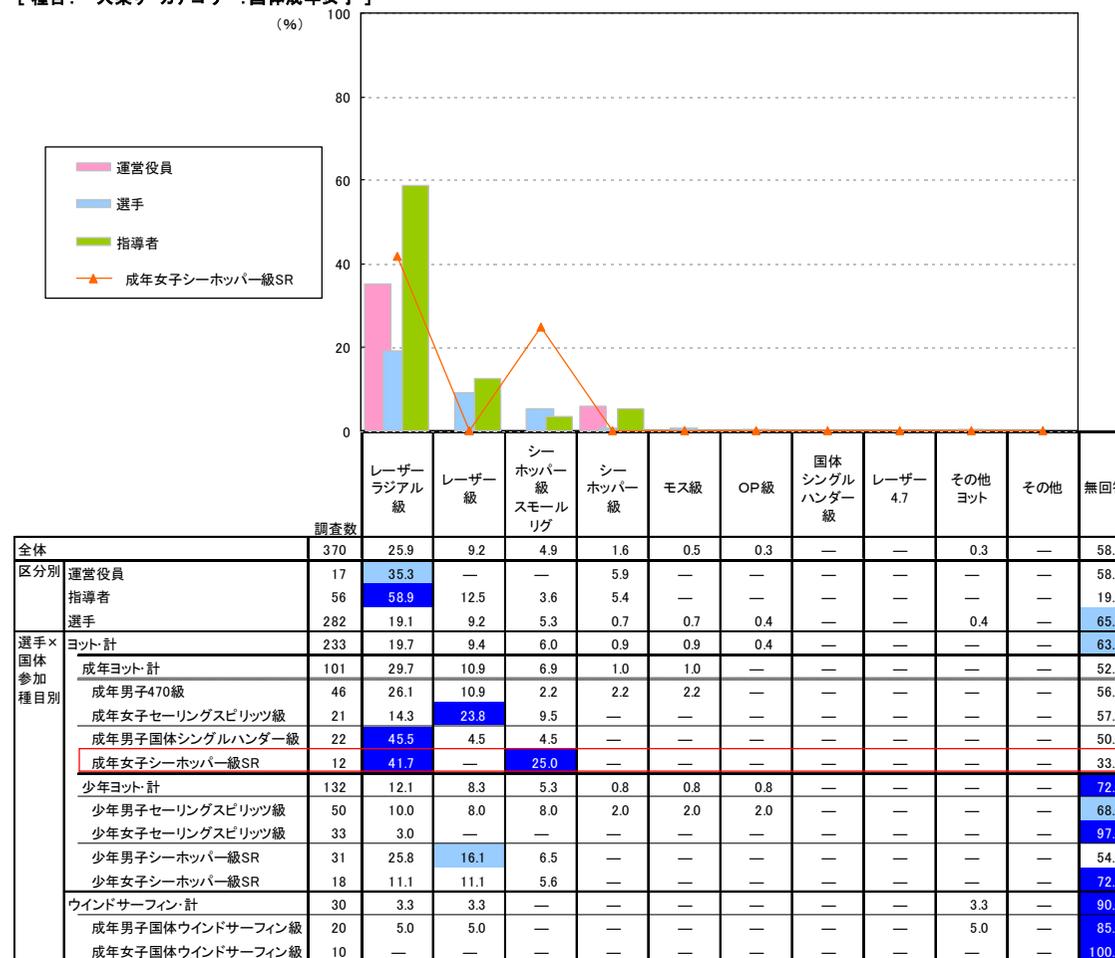
国体・高校・大学で取り組むべき艇種 ①艇種の希望

[種目:一人乗り カテゴリー:国体成年女子]

■国体成年女子・一人乗りの種目で取り組むべき艇種としては、「レーザーラジアル級」が26%でトップ。

- ✓ 区分別では指導者が突出して高く、6割が「レーザーラジアル級」に取り組むべきと回答。
- ✓ 成年女子シーホッパーSR級に参加した選手では「レーザーラジアル級」を支持したのは4割であるが「シーホッパーSR級」も2割強と高め。
- ✓ また、成年女子シーホッパーSR級に参加した選手では「無回答」が3人に1人と高いのも特徴的である。

■Ⅲ-1.世界で活躍するために取り組むべき艇種 (全体/複数回答) ※指導・参加種目以外も回答あり
[種目:一人乗り カテゴリー:国体成年女子]



※該当種目以外の艇種が回答されている場合、グラフ上は非表示
※「選手」の降順ソート ※「全体」より 10pt 5pt 以上高い値にハイライト

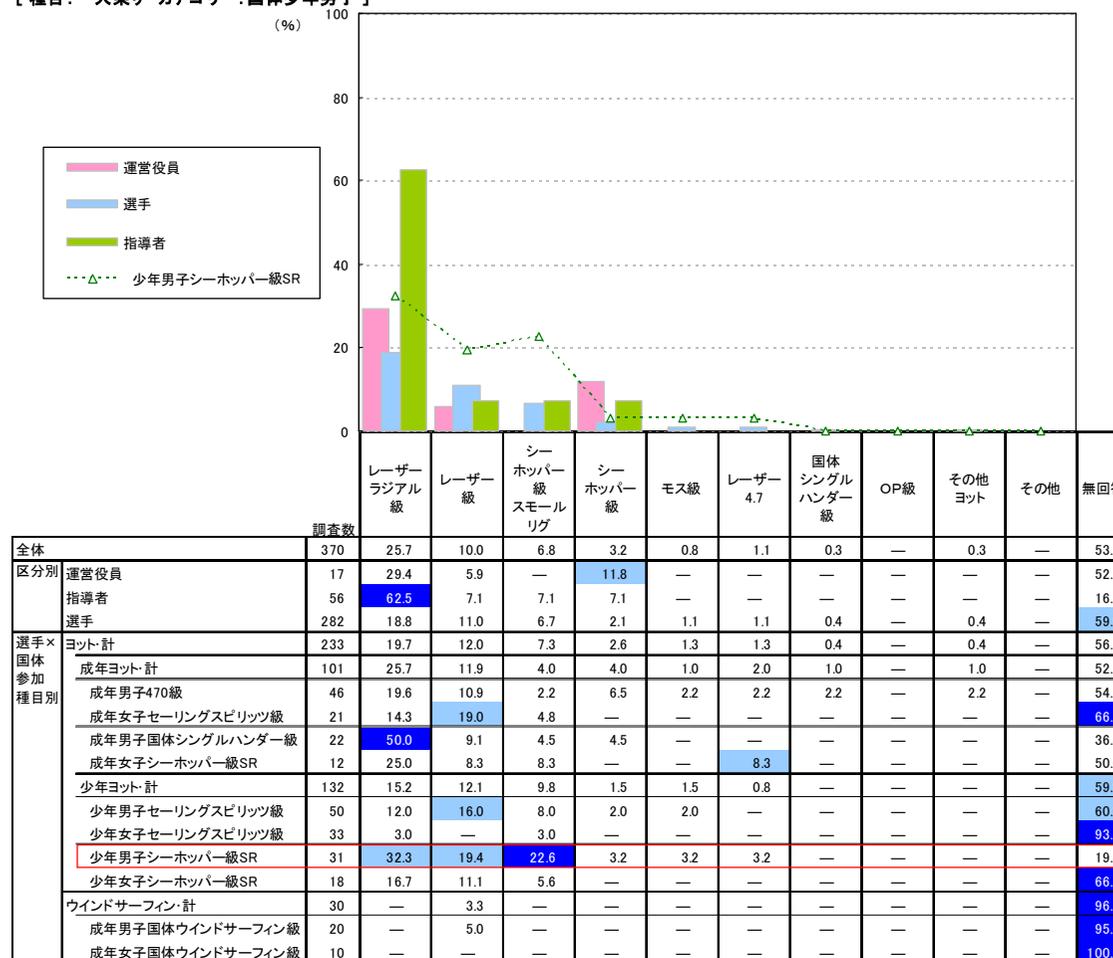
国体・高校・大学で取り組むべき艇種 ①艇種の希望

[種目:一人乗り カテゴリー:国体少年男子]

■国体少年男子・一人乗りの種目で取り組むべき艇種としては、「レーザーラジアル級」が26%でトップ。

- ✓ 区分別では指導者が突出して高く、6割が「レーザーラジアル級」に取り組むべきと回答。
- ✓ 少年男子シーホッパーSR級に参加した選手では、同艇種の支持は2割と他の選手に比べて高いが、「レーザーラジアル級」の3割を下回る。
- ✓ 選手の中では成年男子国体シングルハンダー級の選手で「レーザーラジアル級」を5割支持しており、「レーザー級」の前のステップとして「レーザーラジアル級」が適していると考えていることがうかがえる。

■Ⅲ-1.世界で活躍するために取り組むべき艇種 (全体/複数回答) ※指導・参加種目以外も回答あり
[種目:一人乗り カテゴリー:国体少年男子]



		調査数										
		レーザーラジアル級	レーザー級	シーホッパー級スモールリグ	シーホッパー級	モス級	レーザー4.7	国体シングルハンダー級	OP級	その他ヨット	その他	無回答
全体	370	25.7	10.0	6.8	3.2	0.8	1.1	0.3	—	0.3	—	53.2
区分別												
	運営役員	17	29.4	5.9	—	11.8	—	—	—	—	—	52.9
	指導者	56	62.5	7.1	7.1	—	—	—	—	—	—	16.1
	選手	282	18.8	11.0	6.7	2.1	1.1	0.4	—	0.4	—	59.9
選手×国体参加種目別	ヨット計	233	19.7	12.0	7.3	2.6	1.3	1.3	0.4	—	0.4	56.7
	成年ヨット計	101	25.7	11.9	4.0	4.0	1.0	2.0	1.0	—	1.0	52.5
	成年男子470級	46	19.6	10.9	2.2	6.5	2.2	2.2	—	2.2	—	54.3
	成年女子セーリングスピリッツ級	21	14.3	19.0	4.8	—	—	—	—	—	—	66.7
	成年男子国体シングルハンダー級	22	50.0	9.1	4.5	4.5	—	—	—	—	—	36.4
	成年女子シーホッパー級SR	12	25.0	8.3	8.3	—	—	8.3	—	—	—	50.0
	少年ヨット計	132	15.2	12.1	9.8	1.5	1.5	0.8	—	—	—	59.8
	少年男子セーリングスピリッツ級	50	12.0	16.0	8.0	2.0	2.0	—	—	—	—	60.0
	少年女子セーリングスピリッツ級	33	3.0	—	3.0	—	—	—	—	—	—	93.9
	少年男子シーホッパー級SR	31	32.3	19.4	22.6	3.2	3.2	3.2	—	—	—	19.4
	少年女子シーホッパー級SR	18	16.7	11.1	5.6	—	—	—	—	—	—	66.7
	ウインドサーフィン計	30	—	3.3	—	—	—	—	—	—	—	96.7
	成年男子国体ウインドサーフィン級	20	—	5.0	—	—	—	—	—	—	—	95.0
	成年女子国体ウインドサーフィン級	10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0

※該当種目以外の艇種が回答されている場合、グラフ上は非表示
※「選手」の降順ソート ※「全体」より 10pt 5pt 以上高い値にハイライト

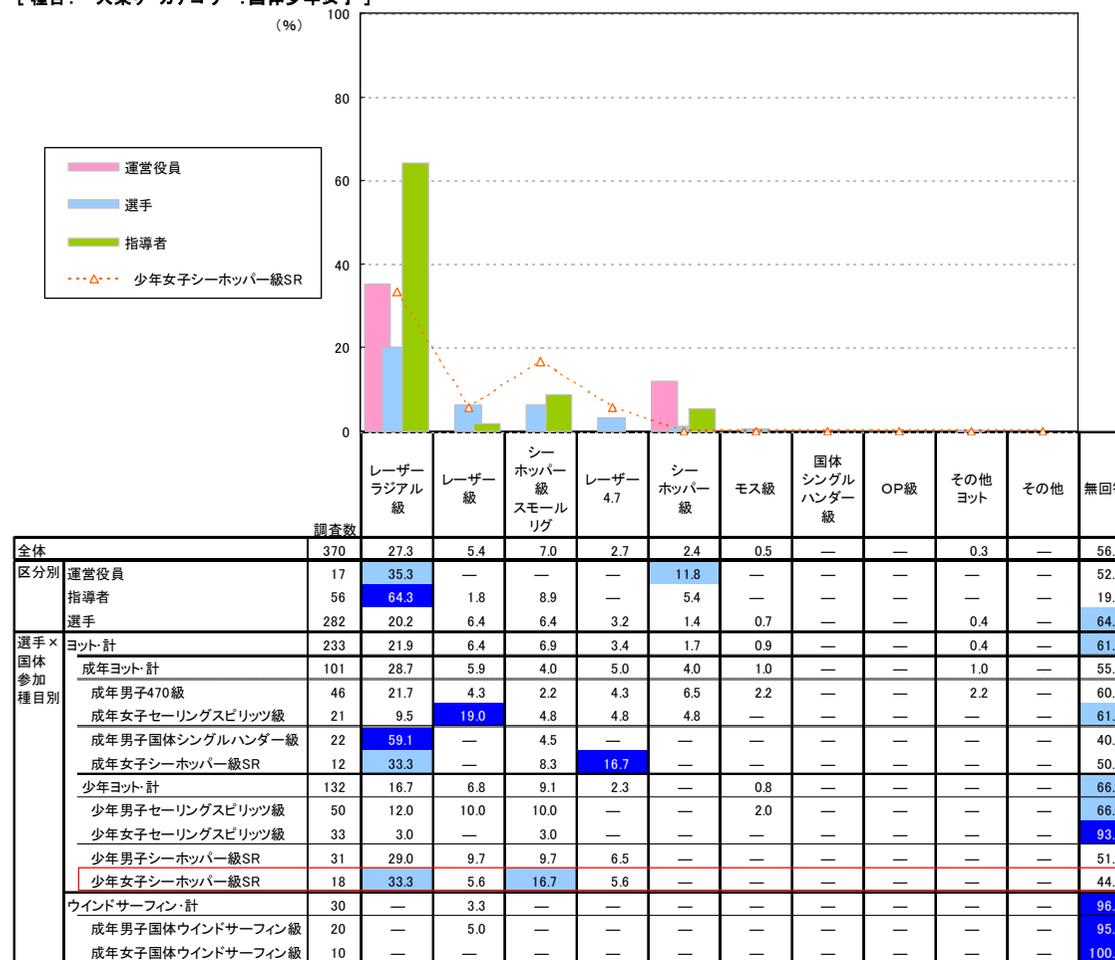
国体・高校・大学で取り組むべき艇種 ①艇種の希望

[種目:一人乗り カテゴリー:国体少年女子]

■国体少年女子・一人乗りの種目で取り組むべき艇種としては、「レーザーラジアル級」が27%でトップ。

- ✓ 区分別では指導者が突出して高く、6割強が「レーザーラジアル級」に取り組むべきと回答。
- ✓ 少年女子シーホッパーSR級に参加した選手では、同艇種を支持したのは2割弱と他の選手に比べて高いが、「レーザーラジアル級」の3割強を下回る。
- ✓ 選手の中では成年男子国体シングルハンダー級の選手で「レーザーラジアル級」を6割が支持しており突出して高い。
- ✓ また、少年女子シーホッパーSR級に参加した選手では「無回答」が4割強と高いのも特徴的である。

■Ⅲ-1.世界で活躍するために取り組むべき艇種 (全体/複数回答) ※指導・参加種目以外も回答あり
[種目:一人乗り カテゴリー:国体少年女子]



※該当種目以外の艇種が回答されている場合、グラフ上は非表示
※「選手」の降順ソート ※「全体」より 10% 5% 以上高い値にハイライト Q3-1-人④

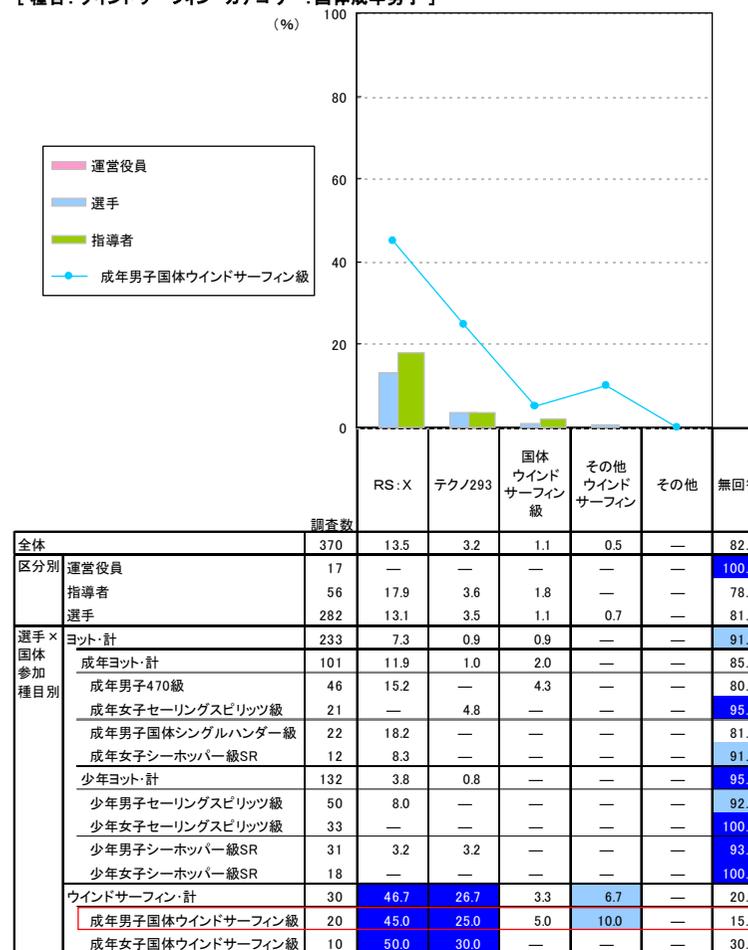
国体・高校・大学で取り組むべき艇種 ①艇種の希望

[種目:ウインドサーフィン カテゴリー:国体成年男子]

■国体成年男子・ウインドサーフィン級の種目で取り組むべき艇種としては、「RS:X」が14%でトップ。

- ✓ 区分別では指導者がやや高く、2割弱が「RS:X」に取り組むべきと回答。
- ✓ 国体成年男子・ウインドサーフィン級に参加した選手では「RS:X」を支持したのは4割強と高く、続いて「テクノ293」が2割強。

■Ⅲ-1.世界で活躍するために取り組むべき艇種（全体／複数回答）※指導・参加種目以外も回答を [種目:ウインドサーフィン カテゴリー:国体成年男子]



調査数	RS:X	テクノ293	国体ウインドサーフィン級	その他ウインドサーフィン	その他	無回答
全体	370	13.5	3.2	1.1	0.5	82.2
区分別						
運営役員	17	—	—	—	—	100.0
指導者	56	17.9	3.6	1.8	—	78.6
選手	282	13.1	3.5	1.1	0.7	81.9
選手×国体参加種目別						
ヨット・計	233	7.3	0.9	0.9	—	91.0
成年ヨット・計	101	11.9	1.0	2.0	—	85.1
成年男子470級	46	15.2	—	4.3	—	80.4
成年女子セーリングスピリッツ級	21	—	4.8	—	—	95.2
成年男子国体シングルハンダー級	22	18.2	—	—	—	81.8
成年女子シーホッパー級SR	12	8.3	—	—	—	91.7
少年ヨット・計	132	3.8	0.8	—	—	95.5
少年男子セーリングスピリッツ級	50	8.0	—	—	—	92.0
少年女子セーリングスピリッツ級	33	—	—	—	—	100.0
少年男子シーホッパー級SR	31	3.2	3.2	—	—	93.5
少年女子シーホッパー級SR	18	—	—	—	—	100.0
ウインドサーフィン・計	30	46.7	26.7	3.3	6.7	20.0
成年男子国体ウインドサーフィン級	20	45.0	25.0	5.0	10.0	15.0
成年女子国体ウインドサーフィン級	10	50.0	30.0	—	—	30.0

※該当種目以外の艇種が回答されている場合、グラフ上は非表示

※「選手」の降順ソート

※「全体」より 10pt 5pt 以上高い値にハイライト

Q3-1WS①

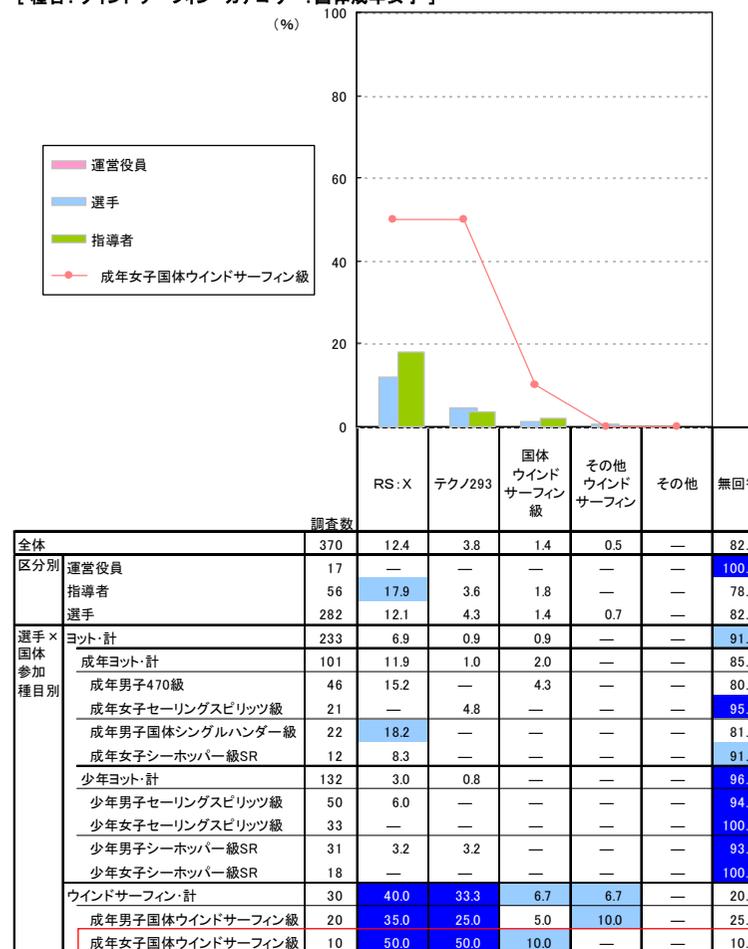
国体・高校・大学で取り組むべき艇種 ①艇種の希望

[種目:ウインドサーフィン カテゴリー:国体成年女子]

■国体成年女子・ウインドサーフィン級の種目で取り組むべき艇種としては、「RS:X」が12%でトップ。

- ✓ 区分別では指導者がやや高く、2割弱が「RS:X」に取り組むべきと回答。
- ✓ 国体成年女子・ウインドサーフィン級に参加した選手では、「RS:X」と「テクノ293」が同率で5割。

■Ⅲ-1.世界で活躍するために取り組むべき艇種（全体／複数回答）※指導・参加種目以外も回答あり
[種目:ウインドサーフィン カテゴリー:国体成年女子]



		調査数	RS:X	テクノ293	国体ウインドサーフィン級	その他ウインドサーフィン	その他	無回答
全体		370	12.4	3.8	1.4	0.5	—	82.7
区分別	運営役員	17	—	—	—	—	—	100.0
	指導者	56	17.9	3.6	1.8	—	—	78.6
	選手	282	12.1	4.3	1.4	0.7	—	82.3
選手×国体参加種目別	ヨット・計	233	6.9	0.9	0.9	—	—	91.4
	成年ヨット・計	101	11.9	1.0	2.0	—	—	85.1
	成年男子470級	46	15.2	—	4.3	—	—	80.4
	成年女子セーリングスビリッツ級	21	—	4.8	—	—	—	95.2
	成年男子国体シングルハンダー級	22	18.2	—	—	—	—	81.8
	成年女子シーホッパー級SR	12	8.3	—	—	—	—	91.7
	少年ヨット・計	132	3.0	0.8	—	—	—	96.2
	少年男子セーリングスビリッツ級	50	6.0	—	—	—	—	94.0
	少年女子セーリングスビリッツ級	33	—	—	—	—	—	100.0
	少年男子シーホッパー級SR	31	3.2	3.2	—	—	—	93.5
	少年女子シーホッパー級SR	18	—	—	—	—	—	100.0
	ウインドサーフィン・計	30	40.0	33.3	6.7	6.7	—	20.0
	成年男子国体ウインドサーフィン級	20	35.0	25.0	5.0	10.0	—	25.0
成年女子国体ウインドサーフィン級	10	50.0	50.0	10.0	—	—	10.0	

※該当種目以外の艇種が回答されている場合、グラフ上は非表示

※「選手」の降順ソート

※「全体」より 10pt 5pt 以上高い値にハイライト

Q3-1WS②

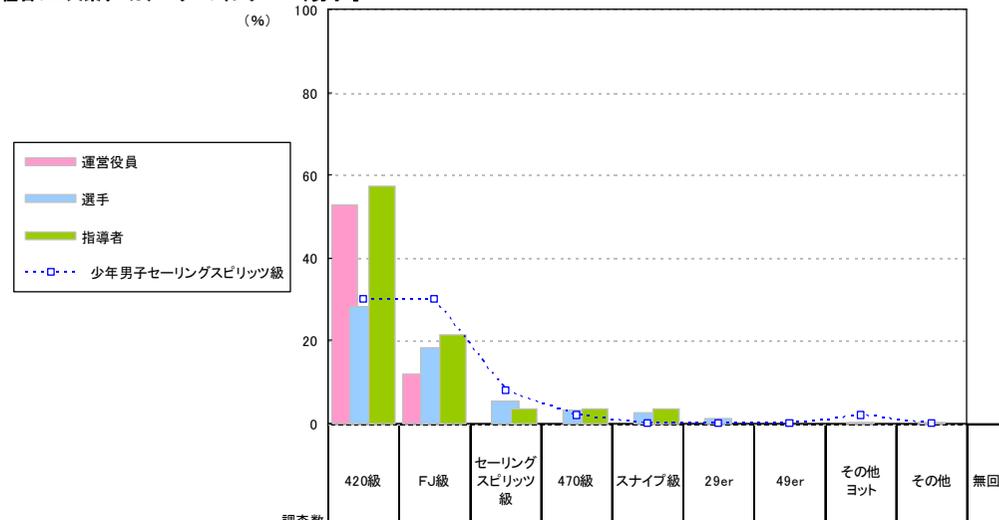
国体・高校・大学で取り組むべき艇種 ①艇種の希望

[種目:二人乗り カテゴリー:インターハイ(高校)男子]

■インターハイ男子・二人乗りの種目で取り組むべき艇種としては、「420級」が34%と突出。

- ✓ 区分別では運営役員・指導者が高く、5割以上が「420級」に取り組むべきと回答。
- ✓ 少年男子セーリングスピリッツ級に参加した選手では、「420級」と「FJ級」が同率で3割。
- ✓ 選手の中では成年男子470級の選手で「420級」を4割が支持しており、「470級」の前のステップとして「420級」が適していると考えていることがうかがえる。

■Ⅲ-1.世界で活躍するために取り組むべき艇種 (全体/複数回答) ※指導・参加種目以外も回答あり
[種目:二人乗り カテゴリー:インターハイ男子]



		調査数	420級	FJ級	セーリングスピリッツ級	470級	スナイプ級	29er	49er	その他ヨット	その他	無回答
全体		370	33.5	17.8	4.6	3.0	2.4	1.4	—	0.3	0.3	43.8
区分別	運営役員	17	52.9	11.8	—	—	—	—	—	—	—	41.2
	指導者	56	57.1	21.4	3.6	3.6	3.6	—	—	—	—	21.4
	選手	282	28.4	18.1	5.3	3.2	2.5	1.4	—	0.4	0.4	47.2
選手×国体参加種目別	ヨット・計	233	30.9	20.2	4.7	3.0	1.7	1.7	—	0.4	0.4	43.8
	成年ヨット・計	101	41.6	19.8	2.0	4.0	4.0	2.0	—	—	1.0	36.6
	成年男子470級	46	41.3	17.4	—	4.3	6.5	4.3	—	—	—	34.8
	成年女子セーリングスピリッツ級	21	47.6	28.6	—	4.8	—	—	—	—	—	33.3
	成年男子国体シングルハンダー級	22	27.3	18.2	9.1	4.5	4.5	—	—	—	—	45.5
	成年女子シーホッパー級SR	12	58.3	16.7	—	—	—	—	—	—	—	33.3
	少年ヨット・計	132	22.7	20.5	6.8	2.3	—	1.5	—	0.8	—	49.2
	少年男子セーリングスピリッツ級	50	30.0	30.0	8.0	2.0	—	—	—	2.0	—	32.0
	少年女子セーリングスピリッツ級	33	6.1	15.2	3.0	—	—	—	—	—	—	78.8
	少年男子シーホッパー級SR	31	32.3	22.6	6.5	3.2	—	3.2	—	—	—	38.7
	少年女子シーホッパー級SR	18	16.7	—	11.1	5.6	—	5.6	—	—	—	61.1
	ウインドサーフィン・計	30	3.3	—	—	3.3	3.3	—	—	—	—	93.3
	成年男子国体ウインドサーフィン級	20	5.0	—	—	5.0	5.0	—	—	—	—	90.0
成年女子国体ウインドサーフィン級	10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0	

※該当種目以外の艇種が回答されている場合、グラフ上は非表示

※「選手」の降順ソート ※「全体」より 10pt 5pt 以上高い値にハイライト

選手達が世界に羽ばたくための方策についてのアンケート

Q3-1二人⑤

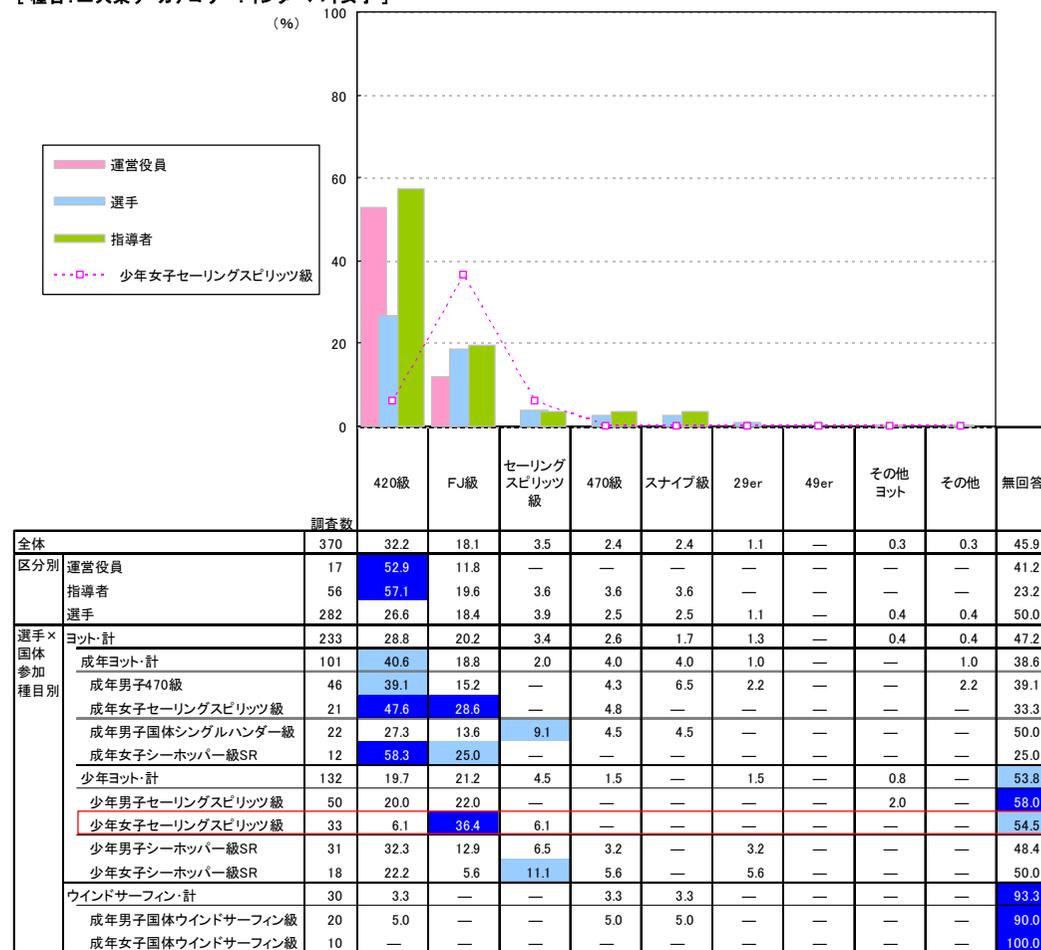
国体・高校・大学で取り組むべき艇種 ①艇種の希望

[種目:二人乗り カテゴリー:インターハイ(高校)女子]

■インターハイ女子・二人乗りの種目で取り組むべき艇種としては、「420級」が32%と突出。

- ✓ 区分別では運営役員・指導者が高く、5割以上が「420級」に取り組むべきと回答。
- ✓ 少年女子セーリングスピリッツ級に参加した選手では、「FJ級」が4割弱と突出しているが、「無回答」も5割を超えて高いのも特徴的である。
- ✓ 選手の中では成年女子で「420級」を高く(5割前後)支持している。

■Ⅱ-1.世界で活躍するために取り組むべき艇種 (全体/複数回答) ※指導・参加種目以外も回答あり
[種目:二人乗り カテゴリー:インターハイ女子]



		調査数	420級	FJ級	セーリングスピリッツ級	470級	スナイプ級	29er	49er	その他ヨット	その他	無回答
全体		370	32.2	18.1	3.5	2.4	2.4	1.1	—	0.3	0.3	45.9
区分別	運営役員	17	52.9	11.8	—	—	—	—	—	—	—	41.2
	指導者	56	57.1	19.6	3.6	3.6	3.6	—	—	—	—	23.2
	選手	282	26.6	18.4	3.9	2.5	2.5	1.1	—	0.4	0.4	50.0
選手×国体参加種目別	ヨット・計	233	28.8	20.2	3.4	2.6	1.7	1.3	—	0.4	0.4	47.2
	成年ヨット・計	101	40.6	18.8	2.0	4.0	4.0	1.0	—	—	1.0	38.6
	成年男子470級	46	39.1	15.2	—	4.3	6.5	2.2	—	—	2.2	39.1
	成年女子セーリングスピリッツ級	21	47.6	28.6	—	4.8	—	—	—	—	—	33.3
	成年男子国体シングルハンダー級	22	27.3	13.6	9.1	4.5	4.5	—	—	—	—	50.0
	成年女子シーホッパー級SR	12	58.3	25.0	—	—	—	—	—	—	—	25.0
	少年ヨット・計	132	19.7	21.2	4.5	1.5	—	1.5	—	0.8	—	53.8
	少年男子セーリングスピリッツ級	50	20.0	22.0	—	—	—	—	—	2.0	—	58.0
	少年女子セーリングスピリッツ級	33	6.1	36.4	6.1	—	—	—	—	—	—	54.5
	少年男子シーホッパー級SR	31	32.3	12.9	6.5	3.2	—	3.2	—	—	—	48.4
	少年女子シーホッパー級SR	18	22.2	5.6	11.1	5.6	—	5.6	—	—	—	50.0
	ウインドサーフィン・計	30	3.3	—	—	3.3	3.3	—	—	—	—	93.3
	成年男子国体ウインドサーフィン級	20	5.0	—	—	5.0	5.0	—	—	—	—	90.0
	成年女子国体ウインドサーフィン級	10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0

※該当種目以外の艇種が回答されている場合、グラフ上は非表示

※「選手」の降順ソート

※「全体」より

10pt 5pt 以上高い値にハイライト

Q3-1二人⑥

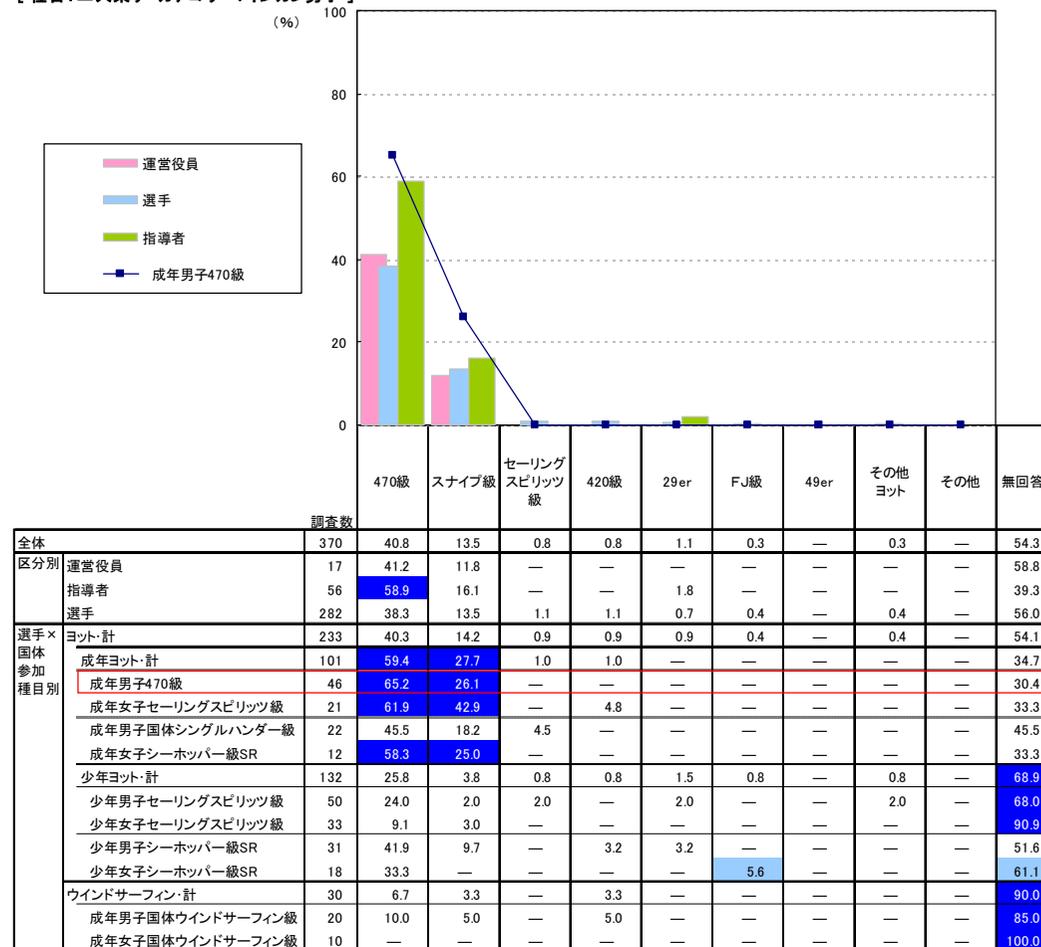
国体・高校・大学で取り組むべき艇種 ①艇種の希望

[種目:二人乗り カテゴリー:インカレ(大学)男子]

■インカレ男子・二人乗りの種目で取り組むべき艇種としては、「470級」が41%と突出。

- ✓ 区分別では指導者が高く、6割が「470級」に取り組むべきと回答。
- ✓ 国体成年男子470級に参加した選手では、6割強が同艇種を支持しており、続いて「スナイブ級」が3割弱。

■Ⅲ-1.世界で活躍するために取り組むべき艇種 (全体/複数回答) ※指導・参加種目以外も回答あり
[種目:二人乗り カテゴリー:インカレ男子]



		調査数	470級	スナイブ級	セーリングスピリッツ級	420級	29er	FJ級	49er	その他ヨット	その他	無回答
全体		370	40.8	13.5	0.8	0.8	1.1	0.3	—	0.3	—	54.3
区分別	運営役員	17	41.2	11.8	—	—	—	—	—	—	—	58.8
	指導者	56	58.9	16.1	—	—	1.8	—	—	—	—	39.3
	選手	282	38.3	13.5	1.1	1.1	0.7	0.4	—	0.4	—	56.0
選手×国体参加種目別	ヨット・計	233	40.3	14.2	0.9	0.9	0.9	0.4	—	0.4	—	54.1
	成年ヨット・計	101	59.4	27.7	1.0	1.0	—	—	—	—	—	34.7
	成年男子470級	46	65.2	26.1	—	—	—	—	—	—	—	30.4
	成年女子セーリングスピリッツ級	21	61.9	42.9	—	4.8	—	—	—	—	—	33.3
	成年男子国体シングルハンダー級	22	45.5	18.2	4.5	—	—	—	—	—	—	45.5
	成年女子シーホッパー級SR	12	58.3	25.0	—	—	—	—	—	—	—	33.3
	少年ヨット・計	132	25.8	3.8	0.8	0.8	1.5	0.8	—	0.8	—	68.9
	少年男子セーリングスピリッツ級	50	24.0	2.0	2.0	—	2.0	—	—	2.0	—	68.0
	少年女子セーリングスピリッツ級	33	9.1	3.0	—	—	—	—	—	—	—	90.9
	少年男子シーホッパー級SR	31	41.9	9.7	—	3.2	3.2	—	—	—	—	51.6
少年女子シーホッパー級SR	18	33.3	—	—	—	—	5.6	—	—	—	61.1	
ウインドサーフィン・計		30	6.7	3.3	—	3.3	—	—	—	—	—	90.0
	成年男子国体ウインドサーフィン級	20	10.0	5.0	—	5.0	—	—	—	—	—	85.0
	成年女子国体ウインドサーフィン級	10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0

※該当種目以外の艇種が回答されている場合、グラフ上は非表示

※「選手」の降順ソート

※「全体」より 10pt 5pt 以上高い値にハイライト

Q3-1二人の⑦

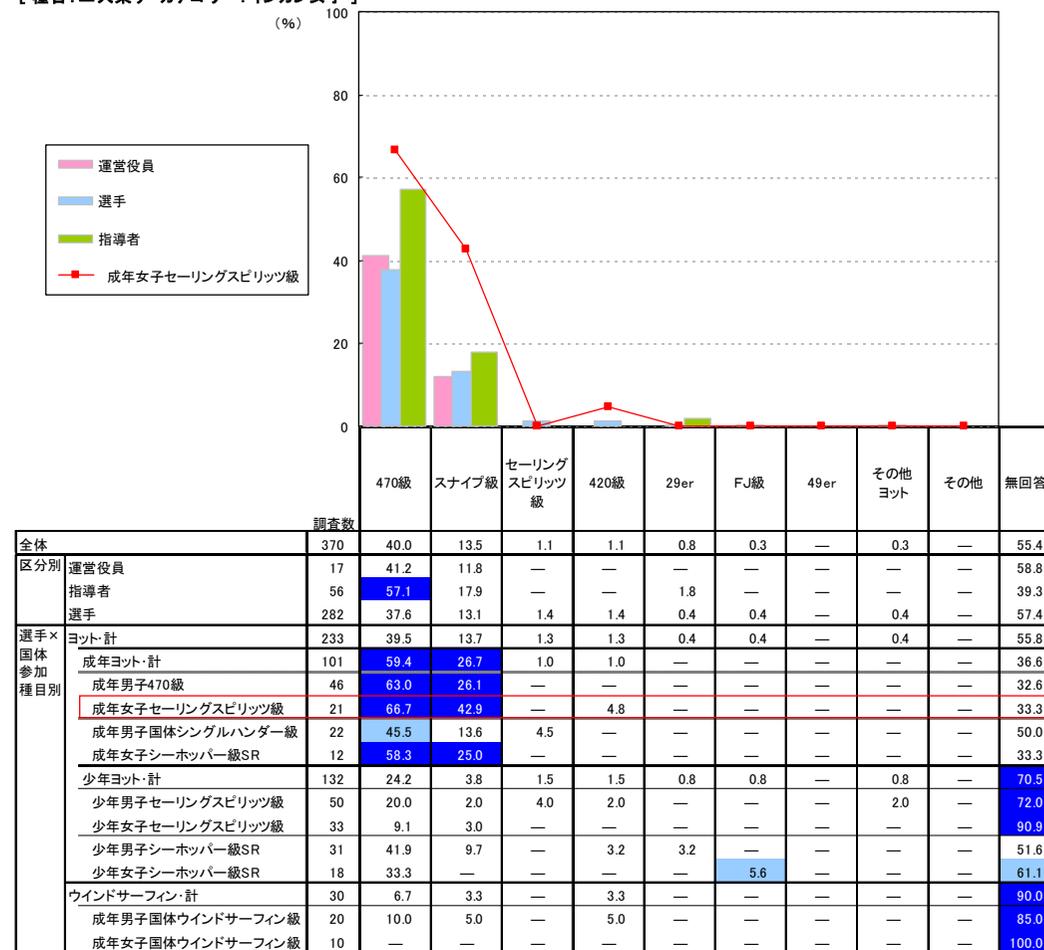
国体・高校・大学で取り組むべき艇種 ①艇種の希望

[種目:二人乗り カテゴリー:インカレ(大学)女子]

■インカレ女子・二人乗りの種目で取り組むべき艇種としては、「470級」が40%と突出。

- ✓ 区分別では指導者が高く、6割弱が「470級」に取り組むべきと回答。
- ✓ 国体成年女子セーリングスピリッツ級に参加した選手では、3人に2人が「470級」を支持しており、続いて「スナイブ級」が4割。

■Ⅲ-1.世界で活躍するために取り組むべき艇種（全体/複数回答）※指導・参加種目以外も回答あり
[種目:二人乗り カテゴリー:インカレ女子]



		調査数	470級	スナイブ級	セーリングスピリッツ級	420級	29er	FJ級	49er	その他ヨット	その他	無回答
全体		370	40.0	13.5	1.1	1.1	0.8	0.3	—	0.3	—	55.4
区分別	運営役員	17	41.2	11.8	—	—	—	—	—	—	—	58.8
	指導者	56	57.1	17.9	—	—	1.8	—	—	—	—	39.3
	選手	282	37.6	13.1	1.4	1.4	0.4	0.4	—	0.4	—	57.4
選手×国体参加種目別	ヨット計	233	39.5	13.7	1.3	1.3	0.4	0.4	—	0.4	—	55.8
	成年ヨット計	101	59.4	26.7	1.0	1.0	—	—	—	—	—	36.6
	成年男子470級	46	63.0	26.1	—	—	—	—	—	—	—	32.6
	成年女子セーリングスピリッツ級	21	66.7	42.9	—	4.8	—	—	—	—	—	33.3
	成年男子国体シングルハンダー級	22	45.5	13.6	4.5	—	—	—	—	—	—	50.0
	成年女子シーホッパー級SR	12	58.3	25.0	—	—	—	—	—	—	—	33.3
	少年ヨット計	132	24.2	3.8	1.5	1.5	0.8	0.8	—	0.8	—	70.5
	少年男子セーリングスピリッツ級	50	20.0	2.0	4.0	2.0	—	—	—	—	2.0	72.0
	少年女子セーリングスピリッツ級	33	9.1	3.0	—	—	—	—	—	—	—	90.9
	少年男子シーホッパー級SR	31	41.9	9.7	—	3.2	3.2	—	—	—	—	51.6
少年女子シーホッパー級SR	18	33.3	—	—	—	—	5.6	—	—	—	61.1	
ウインドサーフィン計	ウインドサーフィン計	30	6.7	3.3	—	3.3	—	—	—	—	—	90.0
	成年男子国体ウインドサーフィン級	20	10.0	5.0	—	5.0	—	—	—	—	—	85.0
	成年女子国体ウインドサーフィン級	10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0

※該当種目以外の艇種が回答されている場合、グラフ上は非表示

※「選手」の降順ソート

※「全体」より 10pt 5pt 以上高い値にハイライト

Q3-1二人®

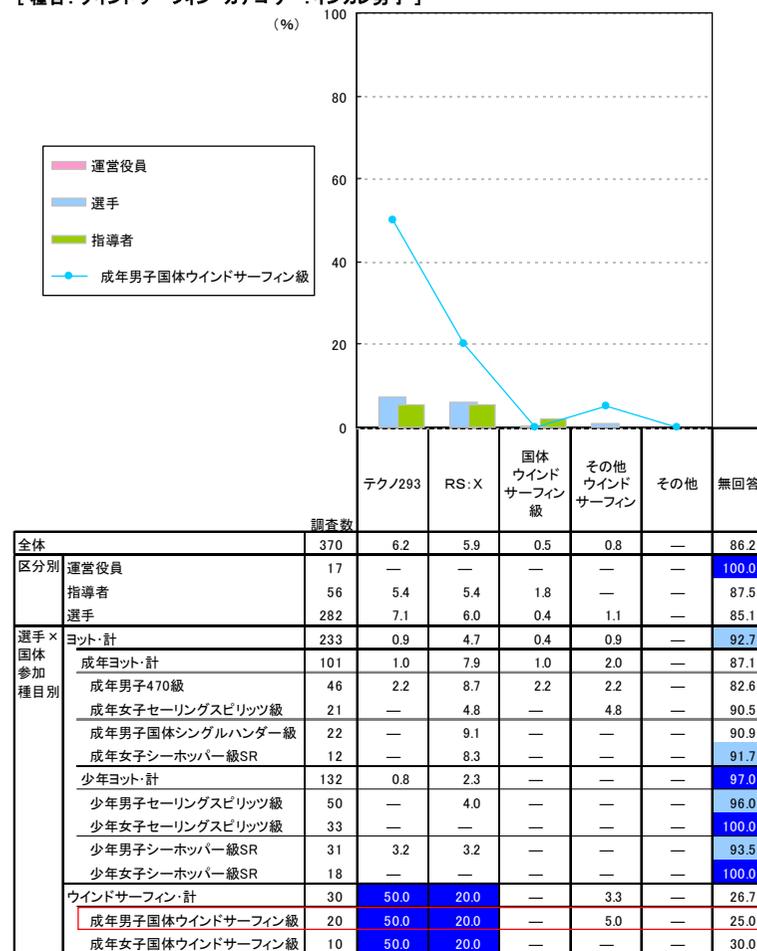
国体・高校・大学で取り組むべき艇種 ①艇種の希望

[種目:ウインドサーフィン カテゴリー:インカレ(大学)男子]

■インカレ男子・ウインドサーフィンの種目で取り組むべき艇種としては、「テクノ293」「RS:X」が6%。

- ✓ 国体成年男子・ウインドサーフィン級に参加した選手では「テクノ293」を支持したのは5割と高く、続いて「RS:X」が2割。

■Ⅲ-1.世界で活躍するために取り組むべき艇種 (全体/複数回答) ※指導・参加種目以外も回答あり
[種目:ウインドサーフィン カテゴリー:インカレ男子]



		調査数	テクノ293	RS:X	国体ウインドサーフィン級	その他ウインドサーフィン	その他	無回答
全体		370	6.2	5.9	0.5	0.8	—	86.2
区分別	運営役員	17	—	—	—	—	—	100.0
	指導者	56	5.4	5.4	1.8	—	—	87.5
	選手	282	7.1	6.0	0.4	1.1	—	85.1
選手×国体参加種目別	ヨット・計	233	0.9	4.7	0.4	0.9	—	92.7
	成年ヨット・計	101	1.0	7.9	1.0	2.0	—	87.1
	成年男子470級	46	2.2	8.7	2.2	2.2	—	82.6
	成年女子セーリングスピリッツ級	21	—	4.8	—	4.8	—	90.5
	成年男子国体シングルハンダー級	22	—	9.1	—	—	—	90.9
	成年女子シーホッパー級SR	12	—	8.3	—	—	—	91.7
	少年ヨット・計	132	0.8	2.3	—	—	—	97.0
	少年男子セーリングスピリッツ級	50	—	4.0	—	—	—	96.0
	少年女子セーリングスピリッツ級	33	—	—	—	—	—	100.0
	少年男子シーホッパー級SR	31	3.2	3.2	—	—	—	93.5
	少年女子シーホッパー級SR	18	—	—	—	—	—	100.0
	ウインドサーフィン・計	30	50.0	20.0	—	3.3	—	26.7
	成年男子国体ウインドサーフィン級	20	50.0	20.0	—	5.0	—	25.0
	成年女子国体ウインドサーフィン級	10	50.0	20.0	—	—	—	30.0

※該当種目以外の艇種が回答されている場合、グラフ上は非表示

※「選手」の降順ソート

※「全体」より

10pt 5pt 以上高い値にハイライト

Q3-1WS/9

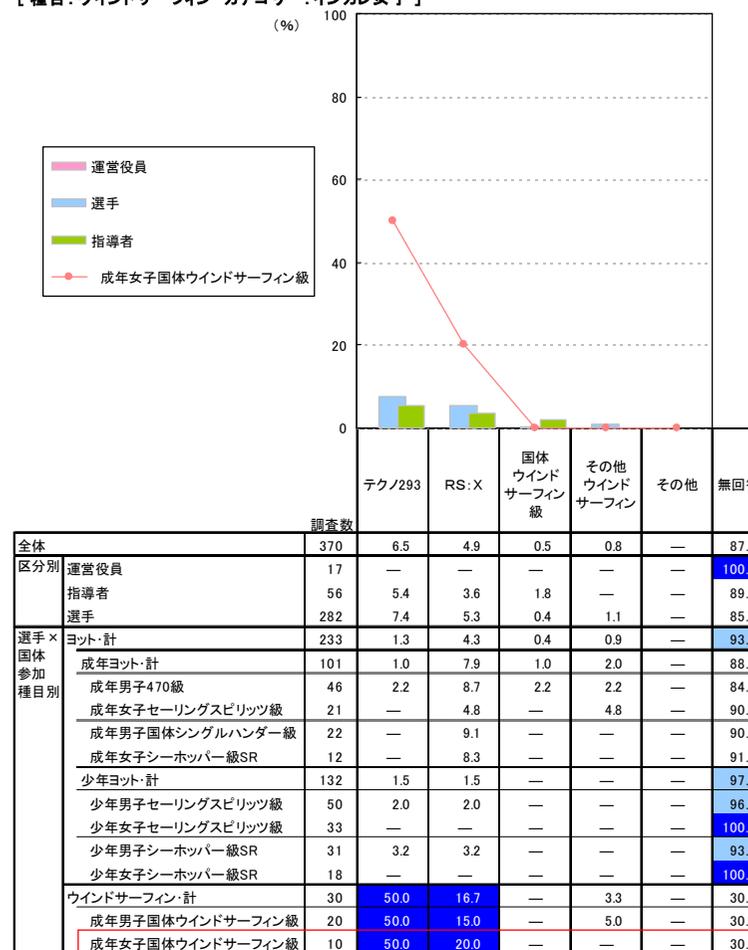
国体・高校・大学で取り組むべき艇種 ①艇種の希望

[種目:ウインドサーフィン カテゴリー:インカレ(大学)女子]

■インカレ女子・ウインドサーフィンの種目で取り組むべき艇種としては、「テクノ293」が7%、「RS:X」が5%。

- ✓ 国体成年女子・ウインドサーフィン級に参加した選手では「テクノ293」を支持したのは5割と高く、続いて「RS:X」が2割。

■Ⅲ-1.世界で活躍するために取り組むべき艇種 (全体/複数回答)※指導・参加種目以外も回答あり
[種目:ウインドサーフィン カテゴリー:インカレ女子]



		調査数	テクノ293	RS:X	国体ウインドサーフィン級	その他ウインドサーフィン	その他	無回答
全体		370	6.5	4.9	0.5	0.8	—	87.3
区別	運営役員	17	—	—	—	—	—	100.0
	指導者	56	5.4	3.6	1.8	—	—	89.3
	選手	282	7.4	5.3	0.4	1.1	—	85.8
選手×国体参加種目別	ヨット・計	233	1.3	4.3	0.4	0.9	—	93.1
	成年ヨット・計	101	1.0	7.9	1.0	2.0	—	88.1
	成年男子470級	46	2.2	8.7	2.2	2.2	—	84.8
	成年女子セーリングスピリッツ級	21	—	4.8	—	4.8	—	90.5
	成年男子国体シングルハンダー級	22	—	9.1	—	—	—	90.9
	成年女子シーホッパー級SR	12	—	8.3	—	—	—	91.7
	少年ヨット・計	132	1.5	1.5	—	—	—	97.0
	少年男子セーリングスピリッツ級	50	2.0	2.0	—	—	—	96.0
	少年女子セーリングスピリッツ級	33	—	—	—	—	—	100.0
	少年男子シーホッパー級SR	31	3.2	3.2	—	—	—	93.5
	少年女子シーホッパー級SR	18	—	—	—	—	—	100.0
	ウインドサーフィン・計	30	50.0	16.7	—	3.3	—	30.0
	成年男子国体ウインドサーフィン級	20	50.0	15.0	—	5.0	—	30.0
	成年女子国体ウインドサーフィン級	10	50.0	20.0	—	—	—	30.0

※該当種目以外の艇種が回答されている場合、グラフ上は非表示

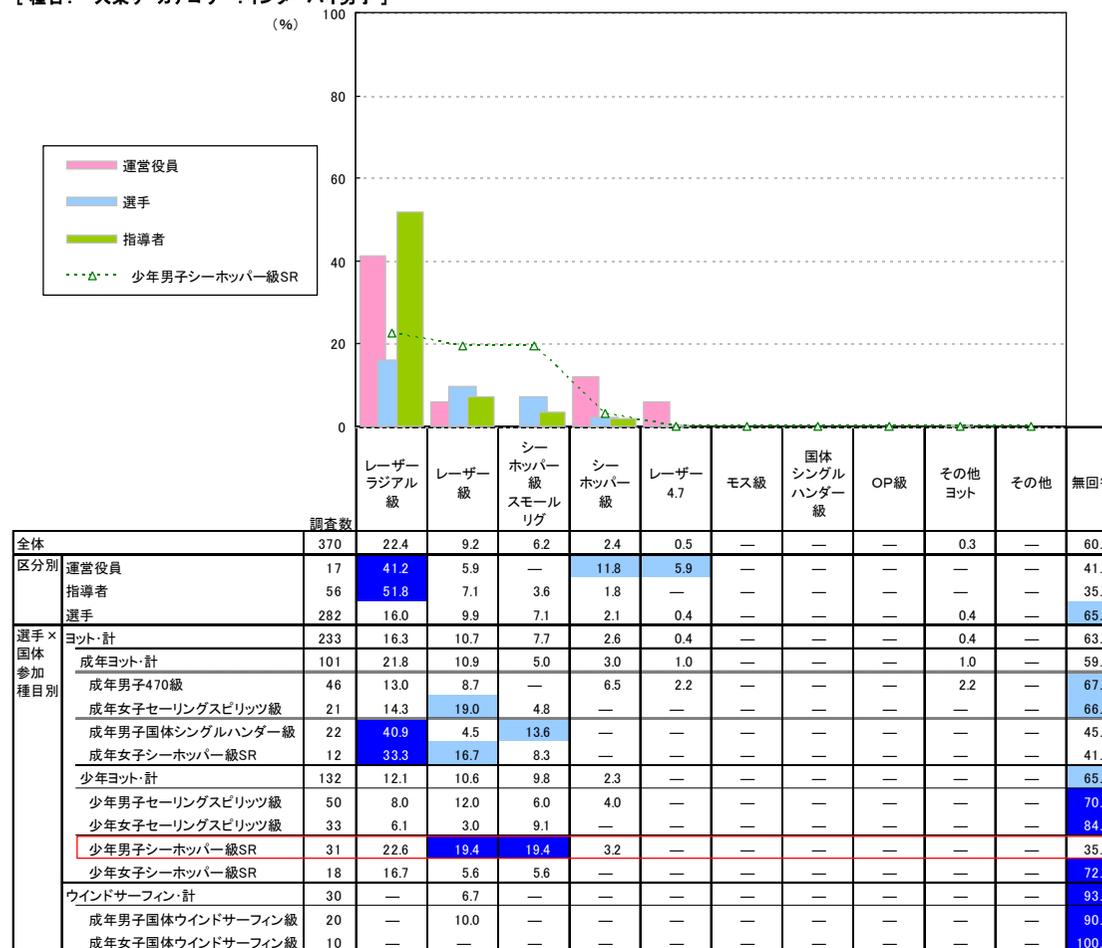
※「選手」の降順ソート ※「全体」より 10pt 5pt 以上高い値にハイライト

Q3-1WS⑧

国体・高校・大学で取り組むべき艇種 ①艇種の希望

【参考】[種目:一人乗り カテゴリー:インターハイ(高校)男子] ※現状種目なし

■Ⅲ-1.世界で活躍するために取り組むべき艇種 (全体/複数回答) ※指導・参加種目以外も回答あり
[種目:一人乗り カテゴリー:インターハイ男子]

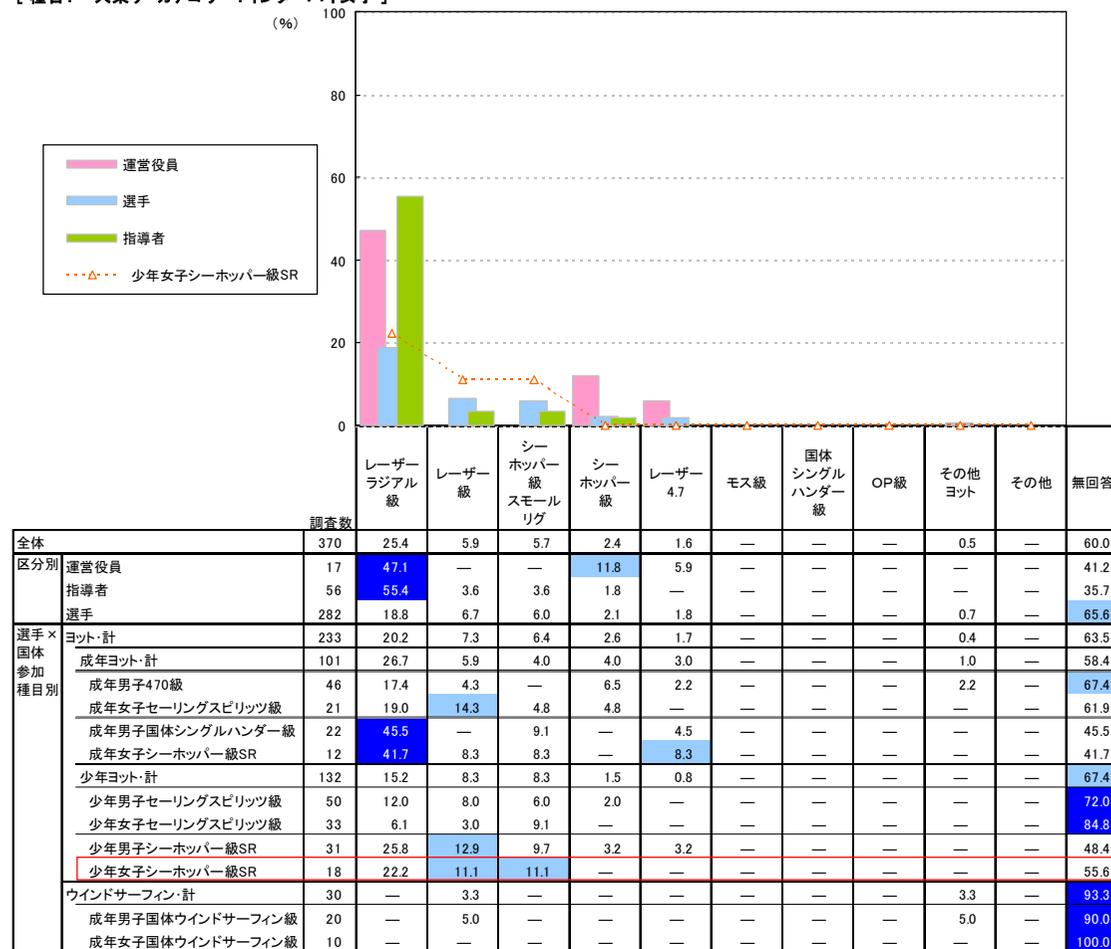


※該当種目以外の艇種が回答されている場合、グラフ上は非表示
※「選手」の降順ソート ※「全体」より 10pt 5pt 以上高い値にハイライト

国体・高校・大学で取り組むべき艇種 ①艇種の希望

【参考】[種目:一人乗り カテゴリー:インターハイ(高校)女子] ※現状種目なし

■Ⅲ-1.世界で活躍するために取り組むべき艇種 (全体/複数回答) ※指導・参加種目以外も回答あり
[種目:一人乗り カテゴリー:インターハイ女子]

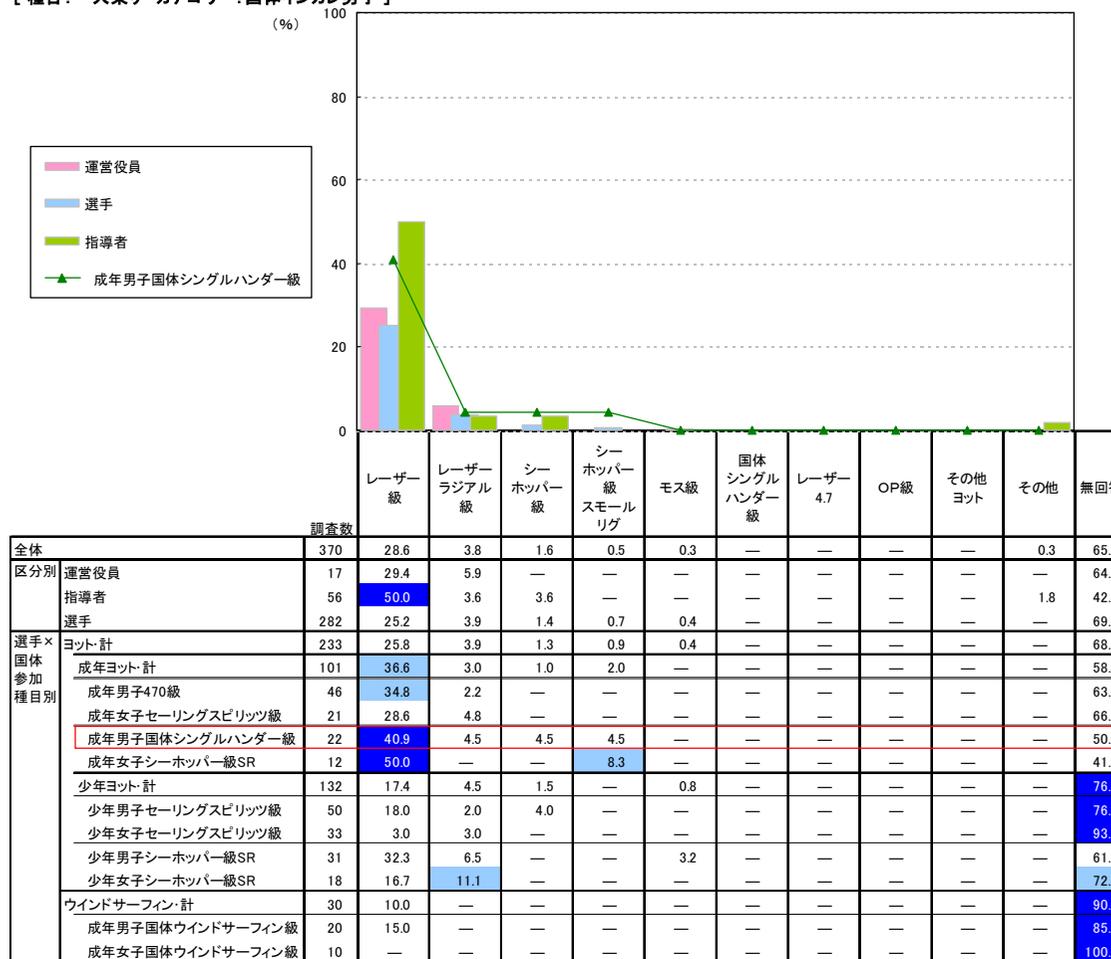


※該当種目以外の艇種が回答されている場合、グラフ上は非表示
※「選手」の降順ソート ※「全体」より 10pt 5pt 以上高い値にハイライト

国体・高校・大学で取り組むべき艇種 ①艇種の希望

【参考】[種目:一人乗り カテゴリー:インカレ(大学)男子] ※現状種目なし

■Ⅲ-1.世界で活躍するために取り組むべき艇種 (全体/複数回答) ※指導・参加種目以外も回答あり
[種目:一人乗り カテゴリー:国体インカレ男子]



※該当種目以外の艇種が回答されている場合、グラフ上は非表示

※「選手」の降順ソート

※「全体」より

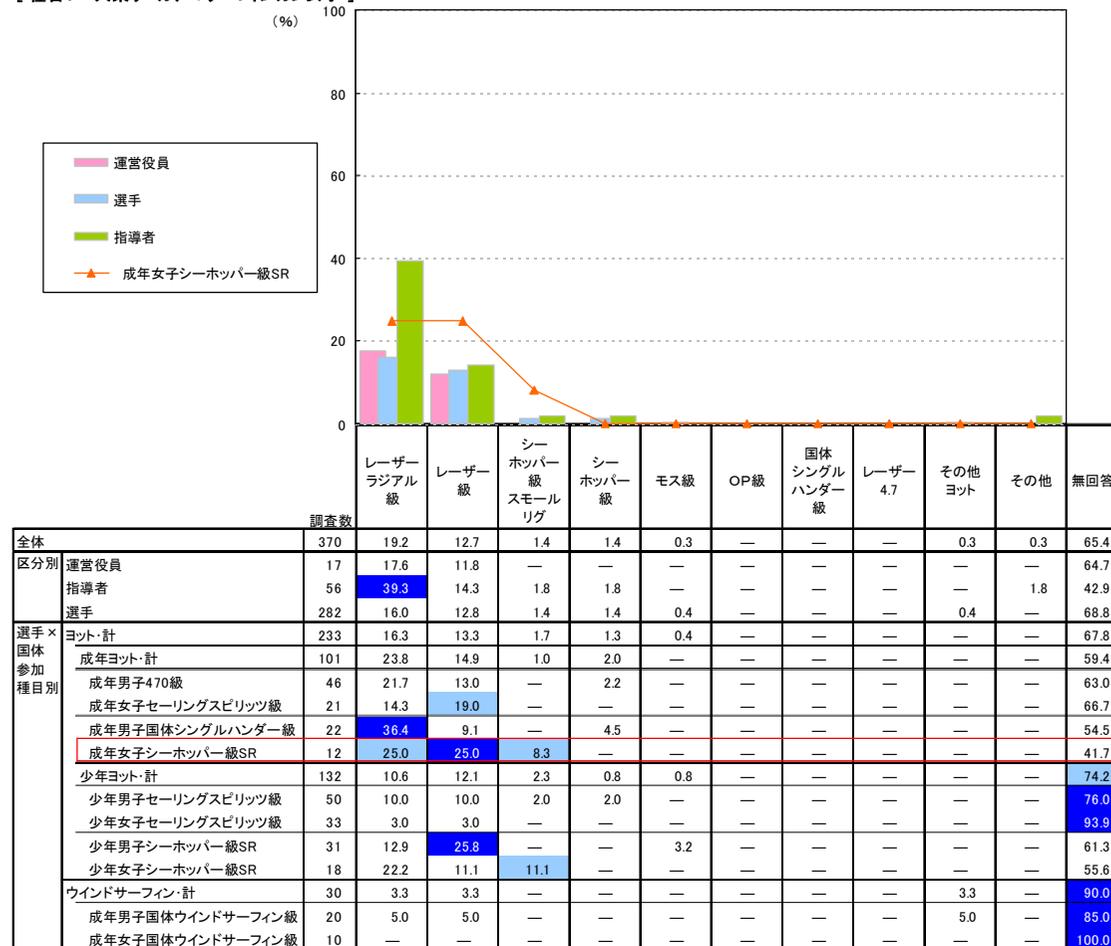
10pt 5pt 以上高い値にハイライト

Q3-1-人⑦

国体・高校・大学で取り組むべき艇種 ①艇種の希望

【参考】[種目:一人乗り カテゴリー:インカレ(大学)女子] ※現状種目なし

■Ⅲ-1.世界で活躍するために取り組むべき艇種 (全体/複数回答) ※指導・参加種目以外も回答あり
[種目:一人乗り カテゴリー:インカレ女子]



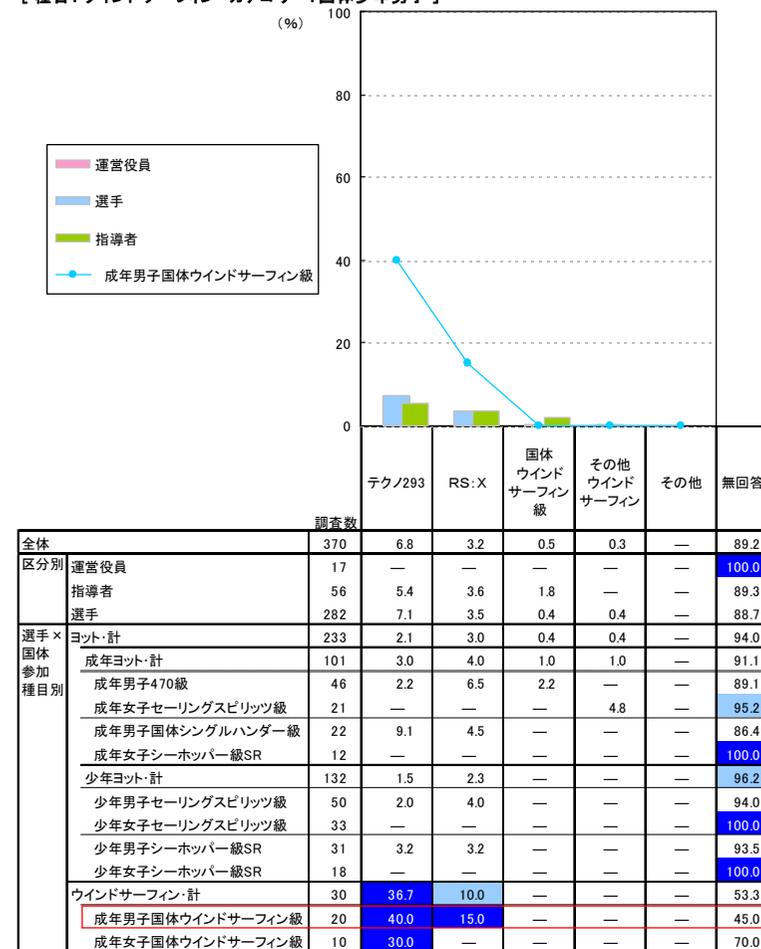
※該当種目以外の艇種が回答されている場合、グラフ上は非表示
※「選手」の降順ソート ※「全体」より 10pt 5pt 以上高い値にハイライト

Q3-1-人⑧

国体・高校・大学で取り組むべき艇種 ①艇種の希望

【参考】[種目:ウインドサーフィン カテゴリー:国体少年男子] ※現状種目なし

■Ⅲ-1.世界で活躍するために取り組むべき艇種 (全体/複数回答) ※指導・参加種目以外も回答あり
[種目:ウインドサーフィン カテゴリー:国体少年男子]



※該当種目以外の艇種が回答されている場合、グラフ上は非表示

※「選手」の降順ソート

※「全体」より

10pt 5pt

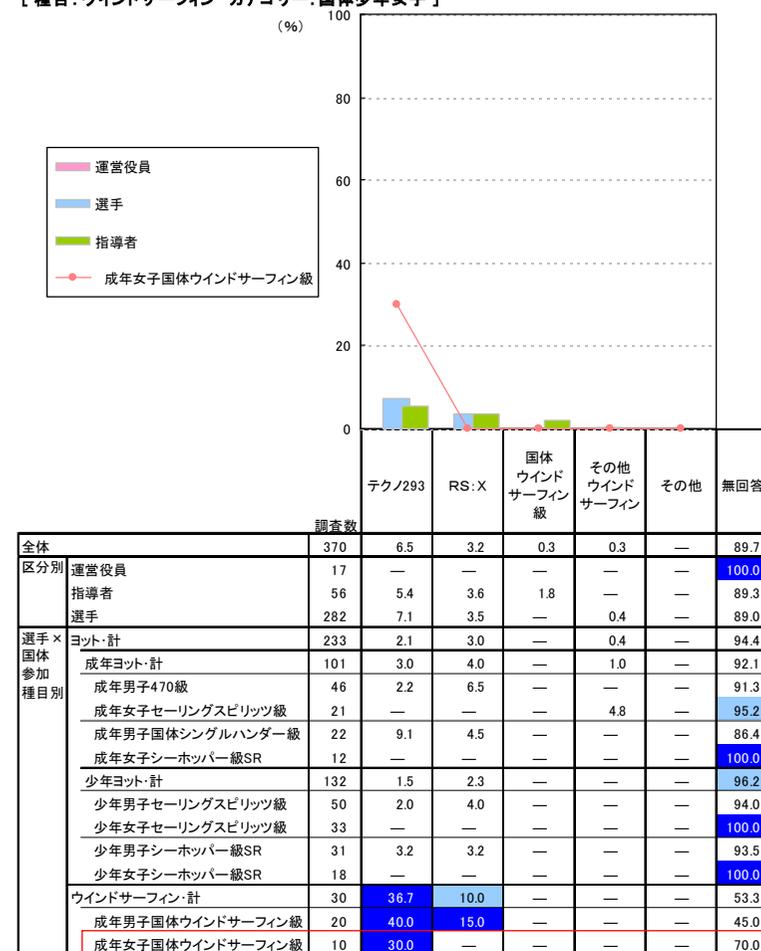
以上高い値にハイライト

Q3-1WS③

国体・高校・大学で取り組むべき艇種 ①艇種の希望

【参考】[種目:ウインドサーフィン カテゴリー:国体少年女子] ※現状種目なし

■Ⅲ-1.世界で活躍するために取り組むべき艇種 (全体/複数回答)※指導・参加種目以外も回答あり
[種目:ウインドサーフィン カテゴリー:国体少年女子]



区分別	調査数	運営役員	選手	指導者	成年女子国体ウインドサーフィン級	無回答
全体	370	6.5	3.2	0.3	0.3	89.7
運営役員	17	—	—	—	—	100.0
指導者	56	5.4	3.6	1.8	—	89.3
選手	282	7.1	3.5	—	0.4	89.0
選手×国体参加種目別	233	2.1	3.0	—	0.4	94.4
ヨット・計	101	3.0	4.0	—	1.0	92.1
成年ヨット・計	46	2.2	6.5	—	—	91.3
成年男子470級	21	—	—	—	4.8	95.2
成年女子セーリングスピリッツ級	22	9.1	4.5	—	—	86.4
成年男子国体シングルハンダー級	12	—	—	—	—	100.0
成年女子シーホッパー級SR	132	1.5	2.3	—	—	96.2
少年ヨット・計	50	2.0	4.0	—	—	94.0
少年男子セーリングスピリッツ級	33	—	—	—	—	100.0
少年女子セーリングスピリッツ級	31	3.2	3.2	—	—	93.5
少年男子シーホッパー級SR	18	—	—	—	—	100.0
少年女子シーホッパー級SR	30	36.7	10.0	—	—	53.3
ウインドサーフィン・計	20	40.0	15.0	—	—	45.0
成年男子国体ウインドサーフィン級	10	30.0	—	—	—	70.0
成年女子国体ウインドサーフィン級	10	30.0	—	—	—	70.0

※該当種目以外の艇種が回答されている場合、グラフ上は非表示

※「選手」の降順ソート

※「全体」より

10pt

5pt

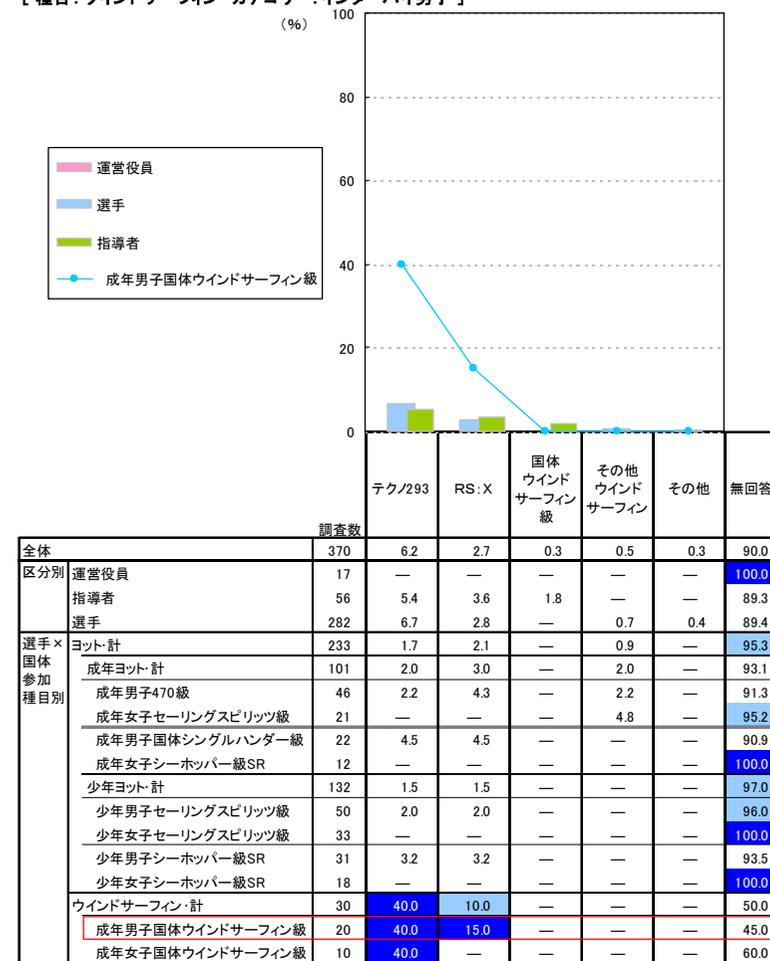
以上高い値にハイライト

Q3-1WS④

国体・高校・大学で取り組むべき艇種 ①艇種の希望

【参考】[種目:ウインドサーフィン カテゴリー:インターハイ(高校)男子] ※現状種目なし

■Ⅲ-1.世界で活躍するために取り組むべき艇種 (全体/複数回答)※指導・参加種目以外も回答あり
[種目:ウインドサーフィン カテゴリー:インターハイ男子]



※該当種目以外の艇種が回答されている場合、グラフ上は非表示
※「選手」の降順ソート ※「全体」より 10pt 5pt 以上高い値にハイライト Q3-1WS⑤

国体・高校・大学で取り組むべき艇種 ①艇種の希望

【参考】[種目:ウインドサーフィン カテゴリー:インターハイ(高校)女子] ※現状種目なし

■Ⅲ-1.世界で活躍するために取り組むべき艇種 (全体/複数回答) ※指導・参加種目以外も回答あり
[種目:ウインドサーフィン カテゴリー:インターハイ女子]



※該当種目以外の艇種が回答されている場合、グラフ上は非表示

※「選手」の降順ソート

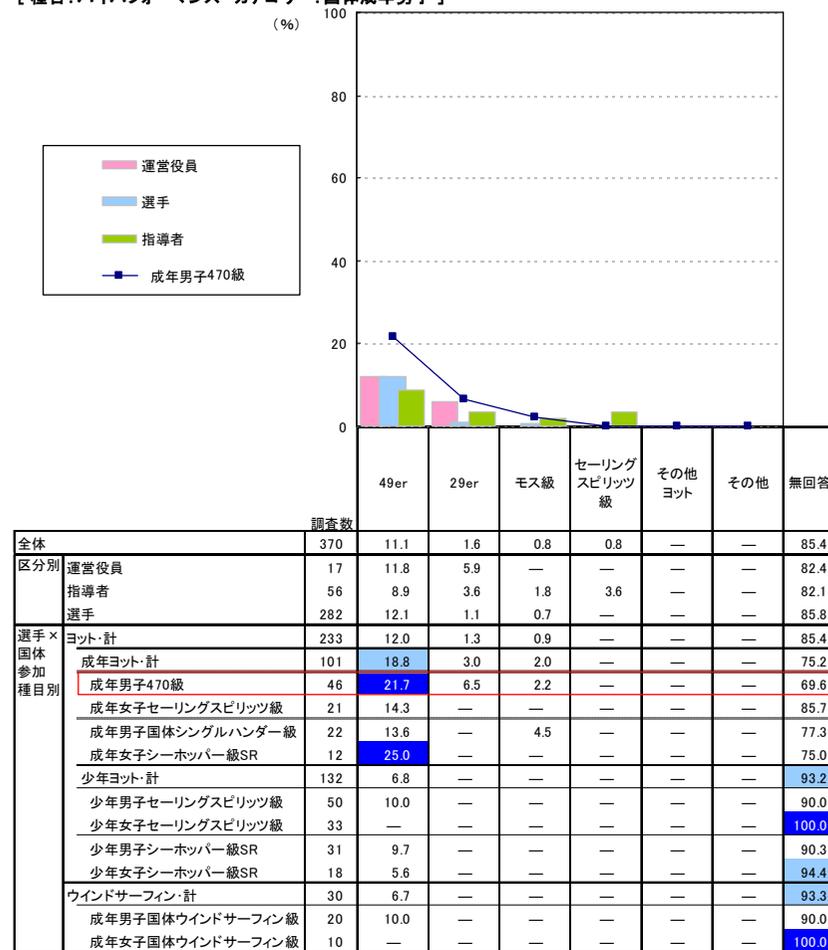
※「全体」より 10pt 5pt 以上高い値にハイライト

Q3-1WS⑥

国体・高校・大学で取り組むべき艇種 ①艇種の希望

【参考】[種目:ハイパフォーマンス カテゴリー:成年男子] ※現状種目なし

■Ⅲ-1 世界で活躍するために取り組むべき艇種 (全体/複数回答) ※指導・参加種目以外も回答あり
[種目:ハイパフォーマンス カテゴリー:国体成年男子]



※該当種目以外の艇種が回答されている場合、グラフ上は非表示

※「選手」の降順ソート

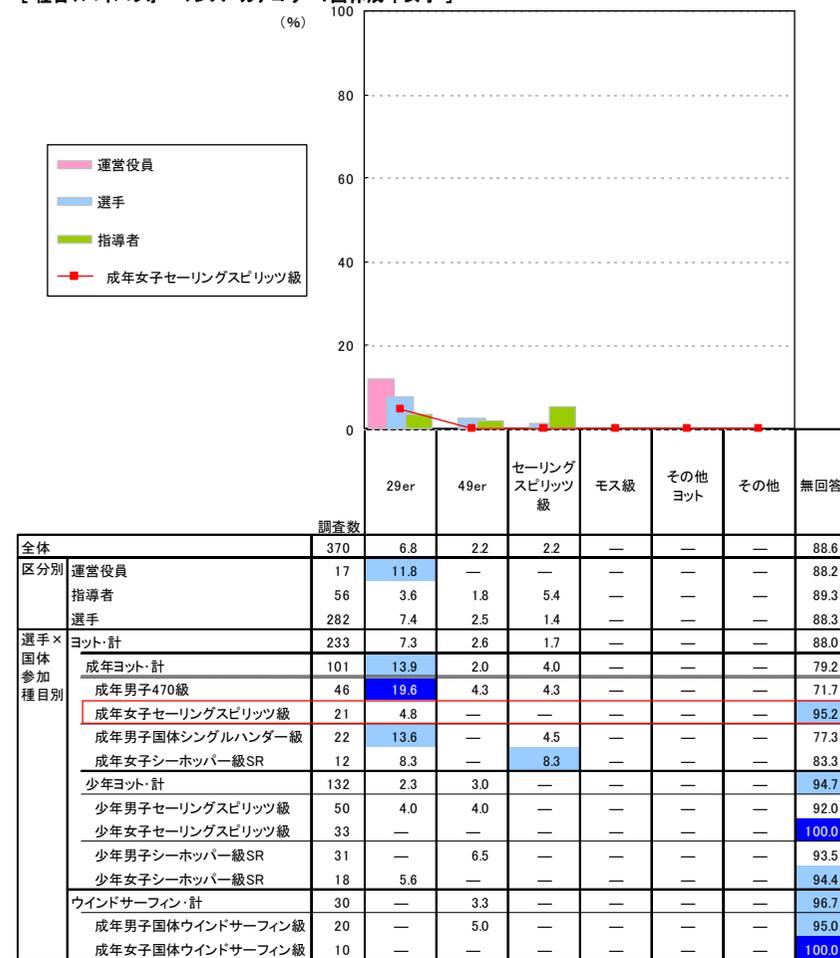
※「全体」より 10pt 5pt 以上高い値にハイライト

Q3-1ハイ①

国体・高校・大学で取り組むべき艇種 ①艇種の希望

【参考】[種目:ハイパフォーマンス カテゴリー:成年女子] ※現状種目なし

■Ⅲ-1.世界で活躍するために取り組むべき艇種 (全体/複数回答) ※指導・参加種目以外も回答あり
 [種目:ハイパフォーマンス カテゴリー:国体成年女子]

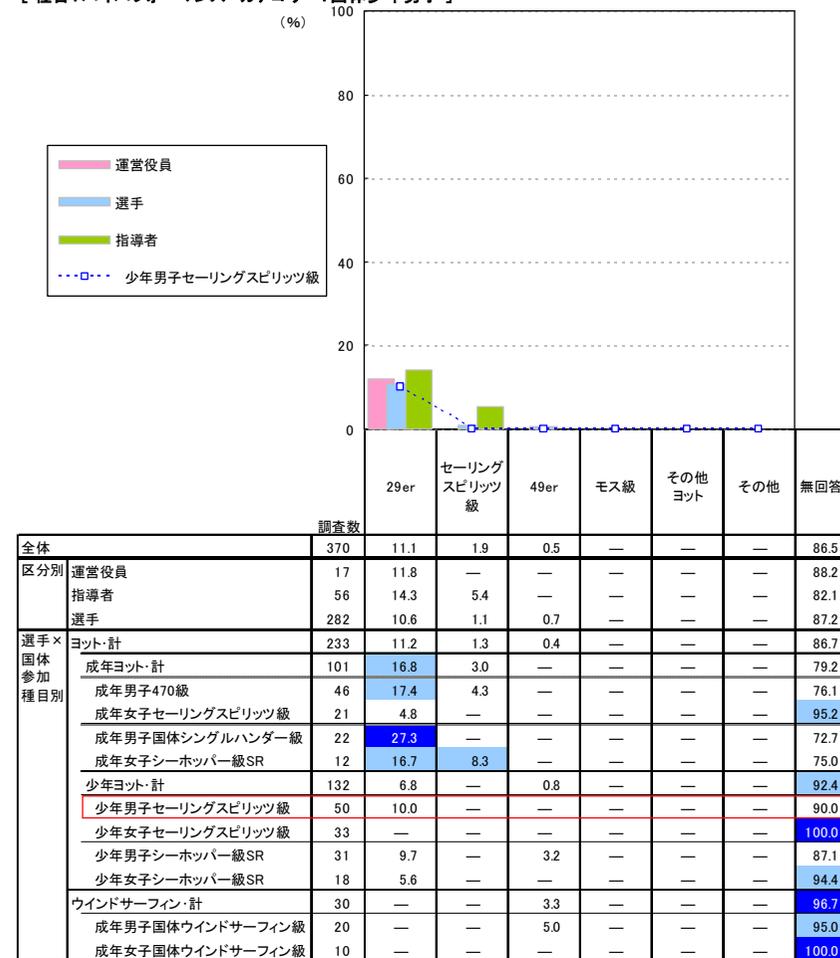


※該当種目以外の艇種が回答されている場合、グラフ上は非表示
 ※「選手」の降順ソート ※「全体」より 10pt 5pt 以上高い値にハイライト

国体・高校・大学で取り組むべき艇種 ①艇種の希望

【参考】[種目:ハイパフォーマンス カテゴリー:少年男子] ※現状種目なし

■Ⅲ-1.世界で活躍するために取り組むべき艇種 (全体/複数回答) ※指導・参加種目以外も回答あり
[種目:ハイパフォーマンス カテゴリー:国体少年男子]



		調査数	29er	セーリングスピリッツ級	49er	モス級	その他ヨット	その他	無回答
全体		370	11.1	1.9	0.5	—	—	—	86.5
区分別	運営役員	17	11.8	—	—	—	—	—	88.2
	指導者	56	14.3	5.4	—	—	—	—	82.1
	選手	282	10.6	1.1	0.7	—	—	—	87.2
選手×国体参加種目別	ヨット・計	233	11.2	1.3	0.4	—	—	—	86.7
	成年ヨット・計	101	16.8	3.0	—	—	—	—	79.2
	成年男子470級	46	17.4	4.3	—	—	—	—	76.1
	成年女子セーリングスピリッツ級	21	4.8	—	—	—	—	—	95.2
	成年男子国体シングルハンダー級	22	27.3	—	—	—	—	—	72.7
	成年女子シーホッパー級SR	12	16.7	8.3	—	—	—	—	75.0
	少年ヨット・計	132	6.8	—	0.8	—	—	—	92.4
	少年男子セーリングスピリッツ級	50	10.0	—	—	—	—	—	90.0
	少年女子セーリングスピリッツ級	33	—	—	—	—	—	—	100.0
	少年男子シーホッパー級SR	31	9.7	—	3.2	—	—	—	87.1
	少年女子シーホッパー級SR	18	5.6	—	—	—	—	—	94.4
	ウインドサーフィン・計	30	—	—	3.3	—	—	—	96.7
	成年男子国体ウインドサーフィン級	20	—	—	5.0	—	—	—	95.0
	成年女子国体ウインドサーフィン級	10	—	—	—	—	—	—	100.0

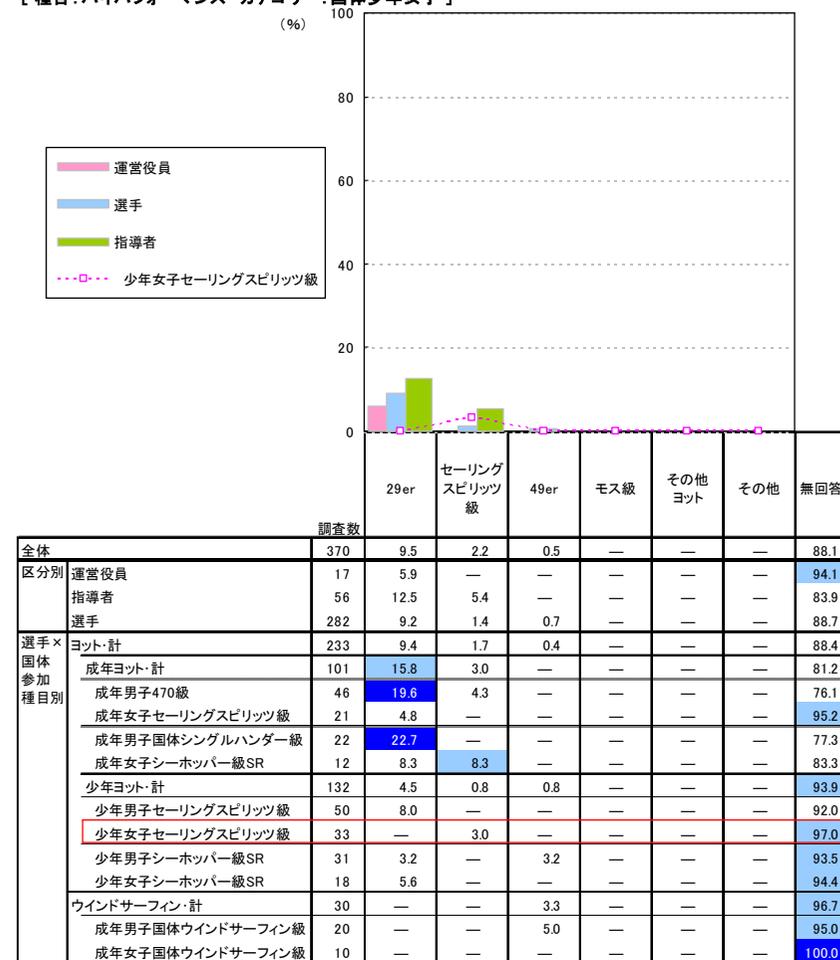
※該当種目以外の艇種が回答されている場合、グラフ上は非表示
※「選手」の降順ソート ※「全体」より 10pt 5pt 以上高い値にハイライト

Q3-1/ハイ③

国体・高校・大学で取り組むべき艇種 ①艇種の希望

【参考】[種目:ハイパフォーマンス カテゴリー:少年女子] ※現状種目なし

■Ⅲ-1.世界で活躍するために取り組むべき艇種 (全体/複数回答) ※指導・参加種目以外も回答あり
 [種目:ハイパフォーマンス カテゴリー:国体少年女子]



※該当種目以外の艇種が回答されている場合、グラフ上は非表示

※「選手」の降順ソート

※「全体」より

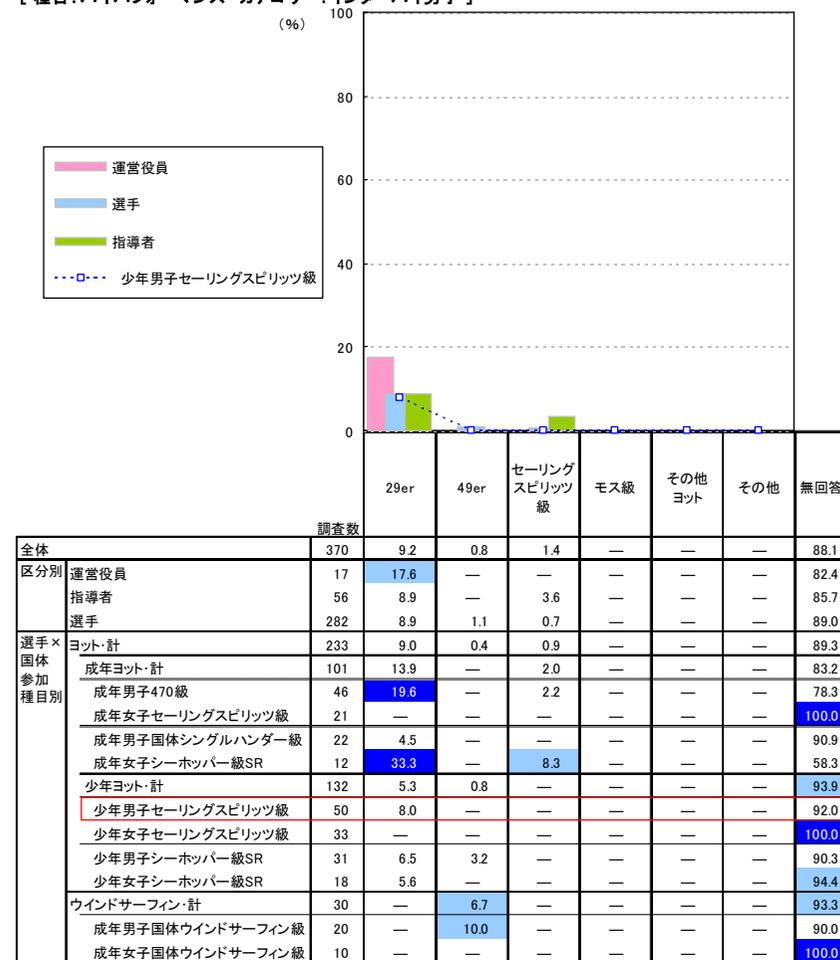
10pt 5pt 以上高い値にハイライト

Q3-1/ハイ④

国体・高校・大学で取り組むべき艇種 ①艇種の希望

【参考】[種目:ハイパフォーマンス カテゴリー:インターハイ(高校)男子] ※現状種目なし

■Ⅲ-1.世界で活躍するために取り組むべき艇種 (全体/複数回答) ※指導・参加種目以外も回答あり
 [種目:ハイパフォーマンス カテゴリー:インターハイ男子]

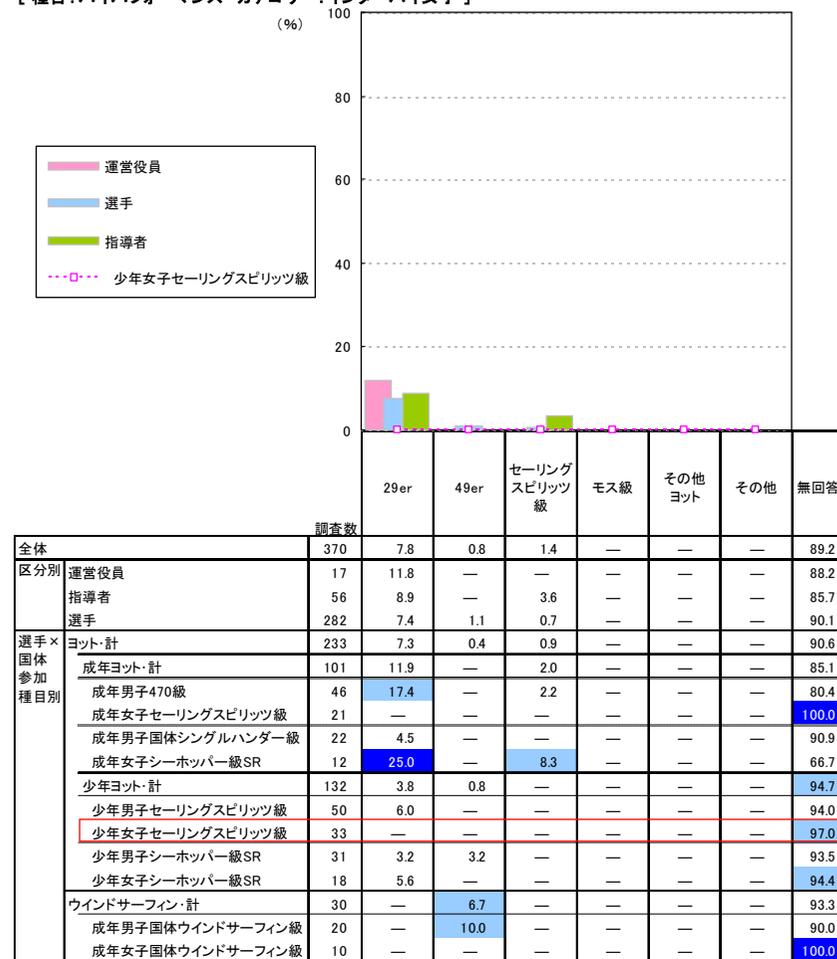


※該当種目以外の艇種が回答されている場合、グラフ上は非表示
 ※「選手」の降順ソート ※「全体」より 10pt 5pt 以上高い値にハイライト

国体・高校・大学で取り組むべき艇種 ①艇種の希望

【参考】[種目:ハイパフォーマンス カテゴリー:インターハイ(高校)女子] ※現状種目なし

■Ⅲ-1.世界で活躍するために取り組むべき艇種 (全体/複数回答) ※指導・参加種目以外も回答あり
 [種目:ハイパフォーマンス カテゴリー:インターハイ女子]

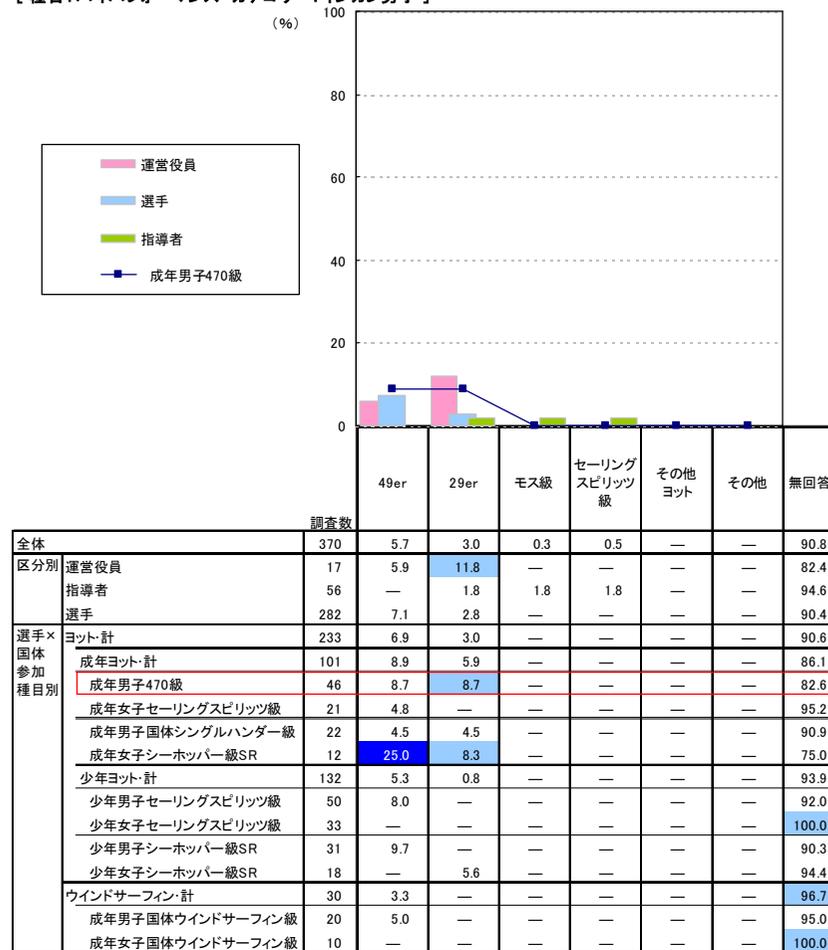


※該当種目以外の艇種が回答されている場合、グラフ上は非表示
 ※「選手」の降順ソート ※「全体」より 10pt 5pt 以上高い値にハイライト Q3-1/ハイ⑥

国体・高校・大学で取り組むべき艇種 ①艇種の希望

【参考】[種目:ハイパフォーマンス カテゴリー:インカレ(大学)男子] ※現状種目なし

■Ⅲ-1.世界で活躍するために取り組むべき艇種 (全体/複数回答) ※指導・参加種目以外も回答あり
[種目:ハイパフォーマンス カテゴリー:インカレ男子]



区分別	調査数	運営役員 (%)	選手 (%)	指導者 (%)	成年男子470級 (%)	無回答 (%)
全体	370	5.7	3.0	0.3	0.5	90.8
運営役員	17	5.9	11.8	—	—	82.4
指導者	56	—	1.8	1.8	—	94.6
選手	282	7.1	2.8	—	—	90.4
選手×国体参加種目別	233	6.9	3.0	—	—	90.6
ヨット計	233	6.9	3.0	—	—	90.6
成年ヨット計	101	8.9	5.9	—	—	86.1
成年男子470級	46	8.7	8.7	—	—	82.6
成年女子セーリングスピリッツ級	21	4.8	—	—	—	95.2
成年男子国体シングルハンダー級	22	4.5	4.5	—	—	90.9
成年女子シーホッパー級SR	12	25.0	8.3	—	—	75.0
少年ヨット計	132	5.3	0.8	—	—	93.9
少年男子セーリングスピリッツ級	50	8.0	—	—	—	92.0
少年女子セーリングスピリッツ級	33	—	—	—	—	100.0
少年男子シーホッパー級SR	31	9.7	—	—	—	90.3
少年女子シーホッパー級SR	18	—	5.6	—	—	94.4
ウインドサーフィン計	30	3.3	—	—	—	96.7
成年男子国体ウインドサーフィン級	20	5.0	—	—	—	95.0
成年女子国体ウインドサーフィン級	10	—	—	—	—	100.0

※該当種目以外の艇種が回答されている場合、グラフ上は非表示
※「選手」の降順ソート ※「全体」より 10pt 5pt 以上高い値にハイライト

Q3-1/14の7

国体・高校・大学で取り組むべき艇種 ①艇種の希望

【参考】[種目:ハイパフォーマンス カテゴリー:インカレ(大学)女子] ※現状種目なし

■Ⅲ-1.世界で活躍するために取り組むべき艇種 (全体/複数回答) ※指導・参加種目以外も回答あり
 [種目:ハイパフォーマンス カテゴリー:インカレ女子]



※該当種目以外の艇種が回答されている場合、グラフ上は非表示

※「選手」の降順ソート ※「全体」より 10pt 5pt 以上高い値にハイライト

Q3-1/ハイ®

国体・高校・大学で取り組むべき艇種 ②艇種選択の理由

- 「470級」を取り組むべき艇種として挙げた人の理由としては、「オリンピック種目だから・オリンピックに繋がるから」が多い。
- 「レーザー級」「レーザーラジアル級」「420級」は「国際種目・世界で普及しているから」「国際大会を目指すため」の理由が多い。
 - ✓ 「420級」については、「ユース種目だから、ユースに繋がるから」「次の艇種に繋がるから」も多い。
- 「セーリングスピリッツ級」「シーホッパー級」「シーホッパーSR級」は、「国体・国内だけなので良くない／必要ない」という意見が多い。
 - ✓ 「シーホッパーSR級」では「国内で普及しているから」という肯定的な意見を挙げる者も同数(2人)いる。
- 「FJ級」については、「インターハイの種目だから」「次の艇種に繋がるから」と肯定的な意見と、「その他意見(否定的)」で分かれる。
 - ・ 「シーホッパー、FJ、SSなど、世界の選手が主として使用していない船での高校・大学生の強化体制にはムダがあると思う。」
 - ・ 「原則、オリンピック・ワールドの使用艇種に合わせるべき。特にFJは、現在の高校生にはアンダーパワーで問題がある。」 など

※自由回答の中で艇種を挙げて理由を説明しているものについては艇種別に分類・集計した。

艇種を記載していないものについては、Ⅲ-1で回答した艇種の中でどの艇種についてコメントしたのかが特定できないので、「艇種不明(特定できず)」とした。

■国体、高校、大学で取り組むべき艇種の理由(自由回答)

	回答数	から	オリ	国際	国際	選手	経済	く	国内	ユ	国内	今	ル	国	幅	普	艇	イン	体	イ	一	と	次	ら	イン	ト	多	そ	そ	そ
		から	リン	大会	種目	の育	的	国	内	ース	で普	の	乗	体	広	段	種	ター	格	イ	人	指	の	イン	ップ	くの	の	の	の	
		オリ	を	を	目	成	な	体	内	種	及	ま	り	に	い	を	ハ	的	イ	乗	導	艇	ター	レ	の	他	他	他		
		リン	目	目	的	強	理	内	で	目	し	ま	り	に	層	統	イ	的	イ	乗	導	種	ハ	レ	の	他	他	他		
		ピック	指	指	的	化	由	普	及	だ	て	ま	り	に	で	一	的	的	イ	乗	導	に	イ	レ	の	他	他	他		
		ク目	す	す	に	に	安	及	し	か	ら	ま	り	に	継	つ	的	的	的	乗	導	接	と	レ	の	他	他	他		
		に	た	た	ら	に	価	し	て	ら	た	ま	り	に	続	い	的	的	的	乗	導	る	同	レ	の	他	他	他		
		だ	め	め	か	良	値	た	る	ら	め	ま	り	に	し	い	的	的	的	乗	導	じ	だ	レ	の	他	他	他		
		か	が	が	が	い		良	い	ユ	た	ま	り	に	乗	乗	的	的	的	乗	導	だ	か	レ	の	他	他	他		
		が	が	が	が	い		い	い	ー	め	ま	り	に	乗	乗	的	的	的	乗	導	だ	か	レ	の	他	他	他		
		が	が	が	が	い		い	い	ー	め	ま	り	に	乗	乗	的	的	的	乗	導	だ	か	レ	の	他	他	他		
全体	305	22.0	11.5	11.1	9.8	7.9	5.9	4.9	4.6	4.6	3.6	3.6	3.3	3.3	2.3	2.3	2.0	2.0	2.0	1.6	1.3	1.3	1.0	1.0	3.9	6.6	8.5			
470について	13	46.2	15.4	15.4	7.7	—	—	—	15.4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7.7	—	—	15.4	—	—	7.7	—	—	—	
セーリングスピリッツについて	17	—	—	—	11.8	—	64.7	—	—	11.8	—	11.8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	11.8	23.5	—		
シーホッパーについて	14	—	—	—	—	28.6	42.9	—	14.3	—	—	—	—	7.1	—	—	14.3	—	—	7.1	—	7.1	—	—	—	7.1	7.1	—		
シーホッパーSRについて	6	—	—	—	—	16.7	16.7	33.3	—	33.3	16.7	16.7	—	—	—	—	16.7	—	—	16.7	—	—	—	—	—	—	—	—		
レーザーについて	11	18.2	27.3	36.4	9.1	—	—	—	—	—	—	—	—	18.2	—	—	—	—	9.1	—	—	—	—	—	—	—	—	9.1	—	
レーザーラジアルについて	6	—	50.0	50.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
420について	12	—	50.0	33.3	—	8.3	—	16.7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	16.7	—	—	—	—	—	—		
FJについて	14	7.1	—	—	7.1	7.1	14.3	—	—	14.3	—	7.1	—	—	—	—	7.1	—	—	7.1	14.3	14.3	—	—	—	7.1	35.7	—		
スナイプについて	9	—	—	—	44.4	11.1	—	—	22.2	—	11.1	—	22.2	11.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	11.1	—	—		
49erについて	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	50.0	—	50.0		
29erについて	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
ウインドサーフィンについて	8	25.0	—	—	25.0	—	12.5	—	12.5	—	—	25.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	25.0	12.5	
テクノについて	7	14.3	—	14.3	—	14.3	—	—	14.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	28.6	14.3	
RS:Xについて	8	50.0	—	25.0	25.0	12.5	—	—	—	—	—	12.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	12.5	12.5	
艇種不明(特定できず)	196	26.0	13.8	11.7	7.7	7.1	1.5	6.1	2.6	4.6	4.1	3.1	3.1	4.6	3.6	1.5	3.1	2.6	2.0	2.0	—	—	1.0	0.5	1.5	2.6	2.0	10.2		

※全体の降順ソート

Ⅲ-2

チャーター艇の可能性 ①艇種を変更する場合、チャーター艇を希望するか

- 艇種を変更する場合、「チャーター艇を希望する」と回答した人は57%で、「希望しない」(27%)を大きく上回った。
- 「チャーター艇を希望する」割合が高いのは、「指導者」で68%。

■Ⅲ-3.(1)艇種を変更する場合、チャーター艇を希望するか(全体/単一回答)

		希望する	希望しない	無回答
●凡例				
全体	(n=370)	57.0%	27.3	15.7
区分別				
運営役員	(n= 17)	41.2	17.6	41.2
指導者	(n= 56)	67.9	21.4	10.7
選手	(n=282)	56.4	29.4	14.2
選手× 国体 参加 種目別				
ヨット・計	(n=233)	55.4	29.6	15.0
成年ヨット・計	(n=101)	55.4	26.7	17.8
成年男子470級	(n= 46)	52.2	32.6	15.2
成年女子セーリングスピリッツ級	(n= 21)	66.7	14.3	19.0
成年男子国体シングルハンダー級	(n= 22)	59.1	18.2	22.7
成年女子シーホッパー級SR	(n= 12)	41.7	41.7	16.7
少年ヨット・計	(n=132)	55.3	31.8	12.9
少年男子セーリングスピリッツ級	(n= 50)	66.0	24.0	10.0
少年女子セーリングスピリッツ級	(n= 33)	36.4	42.4	21.2
少年男子シーホッパー級SR	(n= 31)	64.5	29.0	6.5
少年女子シーホッパー級SR	(n= 18)	44.4	38.9	16.7
ウインドサーフィン・計	(n= 30)	63.3	26.7	10.0
成年男子国体ウインドサーフィン級	(n= 20)	60.0	35.0	5.0
成年女子国体ウインドサーフィン級	(n= 10)	70.0	10.0	20.0

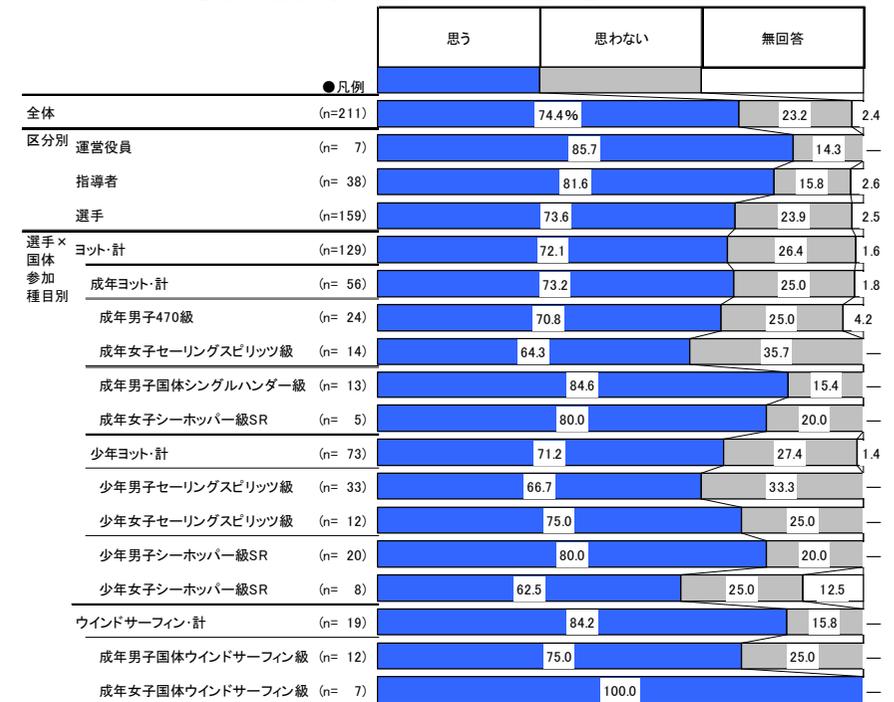
Q3(1)

チャーター艇の可能性 ②チャーター艇を希望する場合、変更希望は容易になるか



■チャーター艇を希望する人の中で、「チャーター艇を用意することによって艇種変更が容易になると思う」と回答した割合は74%。

■Ⅲ-3.(2)チャーター艇によって変更が容易になるか (チャーター艇を希望する/単一回答)



Q3(2)

チャーター艇の可能性 ③チャーター艇が用意される場合、費用負担は可能か

■チャーター艇を希望する人の中で、「チャーター艇を用意される場合、一定の費用負担(チャーター料)は可能」と回答した割合は78%。

■Ⅲ-3.(3)チャーター艇の費用負担は可能か (チャーター艇を希望するノ単一回答)

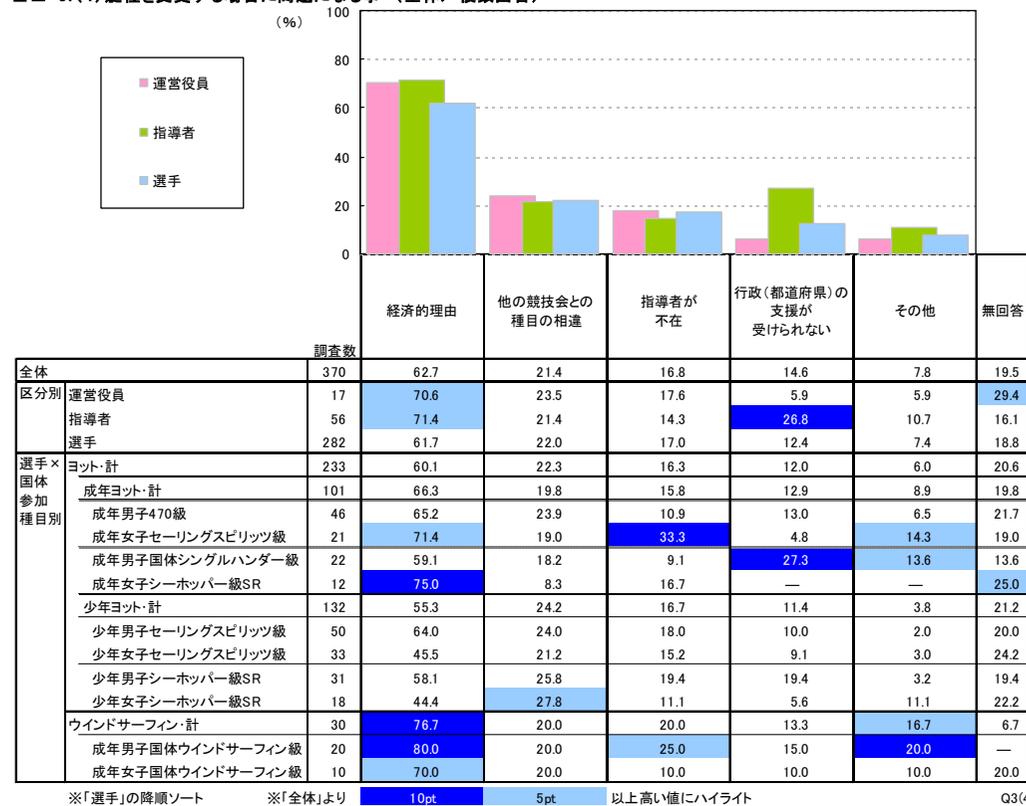
		可能	不可能	無回答
●凡例				
全体	(n=211)	77.7%	17.5	4.7
区分別				
運営役員	(n= 7)	100.0		
指導者	(n= 38)	76.3	18.4	5.3
選手	(n=159)	76.1	18.9	5.0
選手×国体参加種目別				
ヨット・計	(n=129)	76.7	20.2	3.1
成年ヨット・計	(n= 56)	82.1	12.5	5.4
成年男子470級	(n= 24)	83.3	12.5	4.2
成年女子セーリングスピリッツ級	(n= 14)	64.3	28.6	7.1
成年男子国体シングルハンダー級	(n= 13)	100.0		
成年女子シーホッパー級SR	(n= 5)	80.0	20.0	
少年ヨット・計	(n= 73)	72.6	26.0	1.4
少年男子セーリングスピリッツ級	(n= 33)	78.8	18.2	3.0
少年女子セーリングスピリッツ級	(n= 12)	66.7	33.3	
少年男子シーホッパー級SR	(n= 20)	70.0	30.0	
少年女子シーホッパー級SR	(n= 8)	62.5	37.5	
ウインドサーフィン・計	(n= 19)	68.4	21.1	10.5
成年男子国体ウインドサーフィン級	(n= 12)	66.7	25.0	8.3
成年女子国体ウインドサーフィン級	(n= 7)	71.4	14.3	14.3

Q3(4)

艇種を変更する場合に問題になる事

- 艇種を変更する場合に問題となる事としては、「経済的理由(コストが掛る)」が突出しており63%。
- 続いて「他の競技会との種目の相違」(21%)、「指導者が不在」(17%)、「行政(都道府県)の支援が受けられない」(15%)。
- 区分別では、指導者の3割近くが「行政(都道府県)の支援が受けられない」と回答。

■Ⅲ-3.(4)艇種を変更する場合に問題になる事 (全体/複数回答)



オリンピック特別委員会およびジュニア・ユース育成強化委員会への意見

- オリンピック特別委員会およびジュニア・ユース育成強化委員会への要望・意見としては、「ジュニア・ユースの強化が必要」「選手の育成・強化全般についての意見」など、育成・強化についての要望が多くみられた。
- また、「各地域・地方の活性化に対する要望」が9人と多いのも特徴。
- その他「JSAFの取り組みに対する評価」「経済的な問題の改善が必要」が多い。

■オリンピック特別委員会およびジュニア・ユース育成強化委員会の取り組みについて、要望・意見（自由回答）

